

2018 年度 研究所事業報告書

| | |
|------|-----------|
| 研究所名 | 歴史都市防災研究所 |
|------|-----------|

I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2018 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこないできるだけわかりやすく記述してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

- ① **歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会:** 歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、京都をはじめとする歴史都市を対象にした、定型的・非定型的両面の大規模な地理の時空間情報の取得・解析を進展させ、多様な歴史災害都市研究ならびに歴史都市の将来に関するジオデザインに活用するための情報基盤整備ならびに地理空間評価の手法開発を行った。
- ② **歴史文化都市の防災技術研究部会:** 「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確立すること目的に、歴史文化都市空間の歴史的・文化的価値を保全する防災技術を向上させるとともに、(1) 伝統構法木造建築物の構造力学特性の解明、(2) 歴史的建造物の耐震補強・改修技術の開発、(3) 歴史文化都市の防火システムと機器の開発、(4) 歴史文化地域の地盤・水利環境を踏まえた防災技術の開発に関する研究を他の研究部会とも連携して引き続き行った。
- ③ **歴史文化都市の防災デザイン研究部会:** 上記①、②の研究成果を統合し、実際に生きた歴史文化都市に実装するためには、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ための計画と政策が不可欠となる。地域固有の物理的・社会的・歴史的特性をデータ基盤により把握し、その特性分析により未来の減災の知恵と呼べる技術を抽出し、これを将来の地域環境と地域社会の時間軸上に実践的に位置づけようとする防災デザインの取組みを行ない、一連の研究プロセスの総合化を担った。
- ④ **国際展開・社会連携 研究支援プログラム:** 研究所の柱となる年次事業の一つ、第 13 回 UNESCO Chair 国際研修では、過去最大の 262 名の応募者より研修者 15 名を選出し実施した。2018 年度には「動産・不動産文化財の災害からの統合的な保護を目指して」にして、海外からの講師と国内講師陣と協力したジョイントワークショップを展開することができた。国立文化財機構や京都国立博物館からの協力のもとに、本研修のテーマとして取り組んできた地震・火災の予防に限らず、洪水・土砂災害などの水害に対する防災と復興、動産文化財の災害時における緊急対応や、長期的な復興のプロセスの中での無形文化財復興の重要性、マルチステークホルダーによる協力体制構築など、世界的なニーズに充実に応える国内研究の社会還元と、展開可能性の確認を行なった。
- ⑤ **研究所のその他主催事業等:** 柱となる年次事業として「第 12 回歴史都市防災シンポジウム」(7/14)を開催し、38 件の研究発表と活発な討議が行われ、国内外から約 110 名の参加があった。「立命館土曜講座」では日本地域学会との共催で「歴史都市の保全と継承政策」をテーマに公開講演会として市民向け講義を提供した。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも情報発信として学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol.12」や「京都歴史災害研究 第 20 号」を刊行した。地域社会への貢献を目指した事業である「第 12 回地域の安全安心マップコンテスト」では 57 件の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられ、着実に社会的な認知を広めつつ質の高い作品を集めることができた。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2019年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

| 役割 | 氏名 | 所属 | 職位 |
|-----------------------|----------|----------------|------|
| 研究所長・センター長 | 大窪 健之 | 理工学部環境都市工学科 | 教授 |
| 運営委員 | 鈴木 祥之 | 衣笠総合研究機構 | 教授 |
| | 花岡 和聖 | 文学部地域研究学域 | 准教授 |
| | 青柳 憲昌 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 准教授 |
| | 小川 圭一 | 理工学部環境都市工学科 | 教授 |
| | 鐘ヶ江 秀彦 | 政策科学部政策科学科 | 教授 |
| | 河角 直美 | 文学部地域研究学域 | 准教授 |
| | 金 度源 | 衣笠総合研究機構 | 准教授 |
| | 武田 史朗 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 教授 |
| | 豊田 祐輔 | 政策科学部政策科学科 | 准教授 |
| | 深川 良一 | 理工学部環境都市工学科 | 特命教授 |
| | 藤本 将光 | 理工学部環境都市工学科 | 准教授 |
| | 宗本 晋作 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 教授 |
| | 矢野 桂司 | 文学部地域研究学域 | 教授 |
| | 吉富 信太 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 教授 |
| 学内教員 (専任教員、研究系教員等) | 泉 知諭 | 理工学部電気電子工学科 | 教授 |
| | 伊津野 和行 | 理工学部環境都市工学科 | 教授 |
| | 片平 博文 | 文学部地域研究学域 | 特任教授 |
| | 川合 誠 | 情報理工学部情報理工学科 | 特任教授 |
| | 川崎 佑磨 | 理工学部環境都市工学科 | 准教授 |
| | 小林 泰三 | 理工学部環境都市工学科 | 教授 |
| | 里深 好文 | 理工学部環境都市工学科 | 教授 |
| | 高橋 学 | 文学部地域研究学域 | 教授 |
| | 塚口 博司 | 理工学部環境都市工学科 | 特任教授 |
| | 仲谷 善雄 | 情報理工学部情報理工学科 | 教授 |
| | 平尾 和洋 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 教授 |
| | 福水 洋平 | 理工学部電気電子工学科 | 准教授 |
| | 福山 智子 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 准教授 |
| | 藤井 健史 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 助教 |
| | 益田 兼房 | 衣笠総合研究機構 | 教授 |
| | 持田 泰秀 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 教授 |
| | 山内 寛紀 | 理工学部電気電子工学科 | 特任教授 |
| | 山崎 有恒 | 文学部日本史研究学域 | 教授 |
| | 山田 悟史 | 理工学部建築都市デザイン学科 | 講師 |
| 冷泉 為人 | 衣笠総合研究機構 | 教授 | |
| Rohit JIGYASU | 衣笠総合研究機構 | 教授 | |

| | | | |
|--------------|----------------------|---------------|---------------|
| ① 専門研究員・研究員 | 石田 優子 | 総合科学技術研究機構 | 専門研究員 |
| | 谷端 郷 | 衣笠総合研究機構 | 専門研究員 |
| | 酒井 宏平 | O I C 総合研究機構 | 専門研究員 |
| ② リサーチアシスタント | | | |
| | | | |
| ③ 大学院生 | 郭 凱泓 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 5 回生 |
| | 谷崎 友紀 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 5 回生 |
| | 郭 凱泓 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 5 回生 |
| | 佐藤 弘隆 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 4 回生 |
| | 常木 佳奈 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 3 回生 |
| | 前田 一馬 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 3 回生 |
| | 北本 英里子 | 理工学研究科 | 博士課程後期課程 5 回生 |
| | 高山 翔揮 | 理工学研究科 | 博士課程後期課程 1 回生 |
| | Zulfadrim | 政策科学研究科 | 博士課程後期課程 2 回生 |
| | 清水 泰有 | 政策科学研究科 | 博士課程後期課程 2 回生 |
| | KARTIKA Puspita Sari | 政策科学研究科 | 博士課程後期課程 1 回生 |
| | RONI Armis | 政策科学研究科 | 博士課程後期課程 1 回生 |
| | 山本 峻平 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 3 回生 |
| | 印牧 真明 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 富沢 美月 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 板谷 侑生 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | AN Wenting | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 臼井 秀一郎 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 奥 浩 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 小玉 寧人 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 坂下 太一 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 菅谷 英之 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 坪田 叡伴 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 西村 祐香 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 初田 慎弥 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 伊良知 慎太郎 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 井本 悠介 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 稲垣 大基 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 岡野 哲也 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 河野 恒太 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 鬼頭 和記 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 吉田 隼斗 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 橋本 峻太郎 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | 栗原 健伸 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 坂本 良祐 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 | |
| 山下 紗葉 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 | |
| 山中 梢子 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 | |
| 小原 雅人 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 | |

| | | |
|-------------|--------|---------------|
| 松宮 周平 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 杉藤 溪太 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 村田 優美子 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 沢田 亮輔 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 谷 慎太郎 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 林田 南実 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| 櫻井 祥人 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| HUANG Kai | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| QIN Xin | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| ZHAO Yichen | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 内貴 美侑 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 小林 稜治 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 齋藤 翔太 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 田中 勇氣 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 中島 昌暉 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 吉田 成宏 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 安田 茉友子 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 伊原 大貴 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 舘野 祐一郎 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 吉田 成宏 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 工藤 裕也 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 砂田 陸 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 山口 奨 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 山際 大貴 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 山本 歩 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 山本 和輝 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 小林 稜治 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 松田 麗央 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 深井 亮汰 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 清水 弘樹 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 川端 竜平 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 大西 凌太 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 中越 健太 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 中島 昌暉 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 中林 秀光 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 津田 航志 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 田中 勇氣 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 嶋田 陽大 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 内貴 美侑 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 飯村 知寛 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 部谷 遼平 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 福永 靖史 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| 福島 研人 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |

| | | | | |
|---------------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|-----------------|
| | | 北 真都香 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 北川 貴大 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 名久井 大輝 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 毛利 友紀野 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 和田 康志 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 齋藤 翔太 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 高田 厚志 | 理工学研究科 | 博士課程前期課程 1 回生 |
| | | 留野 僚也 | 政策科学研究科 | 博士課程前期課程 2 回生 |
| | ④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD) | | | |
| その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等) | | 今村 聡 | 衣笠総合研究機構 | 補助研究員 |
| | | | | |
| 客員協力研究員 | | 土岐 憲三 | 衣笠総合研究機構 | 特別研究フェロー |
| | | 樋本 圭佑 | 国土交通省 国土技術政策総合研究所 | 主任研究官 |
| | | 高橋 暁 | ユネスコ太平洋州事務所 | 文化担当官 |
| | | 福山 大典 | 株式会社アイエス工業所 | 開発部長 |
| | | 田中 哮義 | (京都大学 | 名誉教授) |
| | | 森 清顕 | 清水寺 | 執事補 |
| | | SHAKYA Lata | ハウジングアンドコミュニティ 財団 | 特認研究員 |
| | | 古川 愛子 | 京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 | 准教授 |
| | | 高松 正彦 | 一般財団法人日本緑化センタ ー | 緑化事業部長 |
| | | 森下 雄治 | 森下漆器株式会社 | 代表取締役 |
| | | 大岡 優 | 都城工業高等専門学校 建築 学科 | 准教授 |
| | | 林 倫子 | 関西大学 環境都市工学部都 市システム工学科 | 准教授 |
| | | Wesley Webb CHEEK | Tulane University | Doctoral Fellow |
| | | 棚橋 秀光 | TASS デザイン研究室 | |
| | | 佐藤 英佑 | 株式会社佐藤建築設計 | 取締役 |
| | | 山崎 文雄 | 千葉大学大学院工学研究科 | 教授 |
| | | Chaweewan DENPAIBOON | チュラロンコン大学 建築学 部 | 准教授 |
| | | 石橋 健一 | 名古屋産業大学環境情報ビ ジネス学部 | 教授 |
| | | 梶 秀樹 | 一般財団法人地域防災支援 協会/筑波大学 | 理事/名誉教授 |
| | | 神田 隆男 | 丸軒企業有限公司 | 京都支店長 |
| | 大槻 知史 | 高知大学総合科学系地域協 働教育学部門 | 准教授 | |
| | 城月 雅大 | 名古屋外国語大学 現代国際 学部 国際教養学科 | 准教授 | |

| | | | |
|--|-------------|--|-----------|
| | 和泉 潤 | (衣笠総合研究機構) | 客員研究員) |
| | Paola RIZZI | ラクイラ大学 建築学部 | 教授 |
| | 宮崎 洋司 | 株式会社プラス社会計画センター | 所長 |
| | 丸岡 稔典 | 名古屋産業大学 | 特任講師 |
| | 村尾 修 | 東北大学 災害科学国際研究所地域・都市再生研究部門国際防災戦略研究分野 | 教授 |
| | 大橋 弘明 | (衣笠総合研究機構) | 客員研究員) |
| | 崔 明姫 | 名古屋工業大学 おもひ領域 | 非常勤研究員 |
| | 石原 凌河 | 龍谷大学政策学部 | 講師 |
| | 青木 和人 | あおき地理情報システム研究所 | 代表 |
| | 矢尾田 清幸 | 沖縄県土地改良事業団体連合会 総務企画支援 | 班長 |
| | 高木 良枝 | 京都市指定文化財長江家住宅 | 学芸員 |
| | 桐村 喬 | 皇學館大学 文学部 | 助教 |
| | 高橋 彰 | 関西学院大学 総合政策学部 | 契約助手 |
| | 山本 大策 | コルゲート大学地理学科 アジア研究プログラム | 准教授 |
| | 山本 由美子 | コルゲート大学地理学科 地理学科所属 | 研究員 |
| | 梶山 真樹 | (公財)京都市景観・まちづくりセンター 事務局 | 次長 |
| | 寺床 幸雄 | 長崎県立大学地域創造学部 公共政策学科 | 講師 |
| | 中谷 友樹 | 東北大学大学院環境科学研究科 | 教授 |
| | 安本 晋也 | 中部大学中部高等学術研究所 | 講師 |
| | 諏訪 浩 | 東京大学空間情報科学研究センター | 客員研究員 |
| | 川道 美枝子 | 関西野生生物研究所 | 代表 |
| | 岡田 篤正 | 京都大学 | 名誉教授 |
| | 北原 糸子 | (衣笠総合研究機構) | 客員研究員) |
| | 植村 善博 | 佛教大学 | 名誉教授 |
| | 大邑 潤三 | 佛教大学 歴史学部 | 非常勤講師 |
| | 板谷 直子 | 京都市都市計画審議会・京都市美観風致審議会・京都市建築審査会・京都市元離宮二条城保存整備委員会/国立大学法人奈良女子大学 | 各委員/非常勤講師 |
| | 米島 万有子 | 熊本大学大学院人文社会科学部 | 准教授 |
| | 白石 陽子 | 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 | 代表理事 |
| | 村中 亮夫 | 北海学園大学 人文学部 | 准教授 |
| | 水田 哲生 | 関西大学 | 専門技術員 |

| | | | |
|---|-------------------|--|---------------------------------------|
| | 金 侖美 | 衣笠総合研究機構 | 客員研究員 |
| その他の学外者 | 須田 達 | 金沢工業大学 環境・建築学部 建築学科 | 准教授 |
| | 向坊 恭介 | 鳥取大学 大学院工学研究科 | 助教 |
| | Joseph Allan KING | ICCROM | Director of Site Unit |
| | Aparna Tandon | ICCROM | Project Manager of Collection Unit |
| | Giovanni BOCCARDI | Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO | Chief |
| | 松尾 勉 | 株式会社ケー・エフ・シー 技術部 | |
| | 田中 克彦 | 総合科学技術研究機構 | 上席研究員 |
| | 天野 丞可 | 帝塚山大学心理科学研究科 心理学専攻臨床心理学専 修 | 博士課程前期課程2回生 |
| 研究所・センター構成員 計 190 名 (うち学内の若手研究者 計 92 名) | | | |

III. 研究業績

本欄には、「II. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2019年3月31日時点)

| 1. 著書 | | | | | | | |
|-------|------|---|---------|---------|----------------------|--|--|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称 | その他編者・著者名 | 担当頁数 |
| 1 | 青柳憲昌 | 『今庄宿 —伝統的建造物群保存対策調査報告書—』、2019年3月 | 共著 | 2019年3月 | 南越前町観光まちづくり課発行 | 大場修・南竹磨・松田法子・福井宇洋・多米淑人・青柳憲昌・今出瑞穂・高嶋猛・坪田叡伴・島田敏男 | 89-91, 103-105, 124-126, 175-180, 224-236, 239-245 |
| 2 | 泉知論 | Principles and Structures of FPGAs | 共著 | 2018年9月 | Springer | H. Amano (Ed.), M. Hariyama, M. Iida, T. Izumi, T. Maruyama, Y. Mitsuyama, M. Motomura, H. Nakahara, Y. Osana, K. Sano, Y. Shibata, T. Sueyoshi, M. Watanabe, Y. Yamaguchi | 87-115 |
| 3 | 大窪健之 | Integrating Disaster Science and Management - Global Case Studies in Mitigation and Recovery -, Chapter 14 "Civic Fire Control System for Historic District in Kiyomizu, Kyoto- Development Project and Its Techniques for "Environmental Water Supply System (EWSS) for Disaster Prevention" to Protect Traditional Wooden Cultural Heritage Zones from Postearthquake Fire" | 共著 | 2018年 | Elsevier Inc. | Pijush Samui, Dookie Ki, Chandan Ghosh et. al. | 263-276 |
| 4 | 金度源 | Technical Deep Dive on Resilient Cultural Heritage and Tourism - Knowledge Note - | 共著 | 2018年5月 | World Bank | Jay Newman, Barbara Minguez, Dowon Kim, Rohit Jigyasu, Takeyuki Okubo | 全ページ |

| | | | | | | | |
|----|------|---|------|----------|---|--|------------------|
| 5 | 里深好文 | 水理公式集 [2018年版] | 分担執筆 | 2019年3月 | 丸善出版株式会社 | 土木学会 水工学委員会 水理公式集編集小委員会 | 255-260, 265-266 |
| 6 | 豊田祐輔 | A Study on Gaming of Participatory Evacuation Planning in Tourist Area using Agent Simulation, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) "Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning" | 共著 | 2019年 | Springer Science Business Media | Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko | 276-286 |
| 7 | 豊田祐輔 | Gaming Simulation as a Tool of Problem-based Learning for University Disaster Education, in Hamada Ryoju, Soranastaporn Songsri, Kanegae Hidehiko, Dumrongrojwatthana Pongchai, Chaisanit Settchai, Rizzi Paola and Demblekar Vinod (Eds.) "Neo-Simulation and Gaming Toward Active Learning" | 共著 | 2019年 | Springer, Singapore | Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko | 264-275 |
| 8 | 豊田祐輔 | 「「コミュニティ防災ゲーミング：地震編」でコミュニティ防災を体験しよう！」「ゲームの構造、役割、ルールを考えてゲーミングをつくる！」近藤敦、豊田祐輔、宮脇昇、吉永潤編『大学の学びを変えるゲーミング』 | 共編著 | 2019年 | 晃洋書房 | 豊田祐輔 | 出版確定 |
| 9 | 花岡和聖 | 社会調査の回収率低下とその地域差 (埴淵知哉・村中亮夫編『地域と統計<調査困難時代>のインターネット調査』) | 共著 | 2018年12月 | ナカニシヤ出版 | 埴淵知哉・中谷友樹・村中亮夫・花岡和聖 | pp. 2-28 |
| 10 | 花岡和聖 | 小地域でみる国勢調査「不詳」の分布 (埴淵知哉・村中亮夫編『地域と統計<調査困難時代>のインターネット調査』) | 共著 | 2018年12月 | ナカニシヤ出版 | 埴淵知哉・中谷友樹・村中亮夫・花岡和聖 | pp. 2-28 |
| 11 | 花岡和聖 | 増減 (石川義孝編『地図でみる日本の外国人 改訂版』) | 分担執筆 | 2019年1月 | ナカニシヤ出版 | 花岡和聖 | pp. 6-7 |
| 12 | 福山智子 | 電気化学的手法を活用した実効的維持管理手法の確立に関する研究委員会報告書 | 共編著 | 2018年9月 | 日本コンクリート工学会 | 電気化学的手法を活用した実効的維持管理手法の確立に関する研究委員会 | |
| 13 | 酒井宏平 | A Study on Agent Modeling of Tourist Evacuation Behaviors in an Earthquake: A Case Study of an Evacuation Simulation of Himeji Castle | 共著 | 2018年12月 | Innovative Approaches in Agent-Based Modelling and Business Intelligence (Agent-Based Social Systems) | 編集: Setsuya Kurahashi and Hiroshi Takahashi 著者: Makoto Sonohara, Kohei Sakai, Masakazu Takahashi and Toshiyuki Kaneda | 189-204 |

2. 論文

| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌、巻・号数 | その他編者・著者名 | 担当頁数 | 査読有無 |
|-----|------|-----------------------|---------|---------|-----------------------|-----------|---------|------|
| 1 | 青柳憲昌 | 「法隆寺壁画収蔵庫の設計経緯と建築的特徴」 | 単著 | 2018年6月 | 『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』 | 青柳憲昌 | 545-548 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|-------|--|----|----------|--|--|-------------|---|
| 2 | 青柳憲昌 | 「旧北国街道今庄宿の歴史的町並みに関する研究 —その1 町家の建築的特徴と町並みの構成—」 | 共著 | 2018年9月 | 『日本建築学会大会学術講演集梗概集』 | 福井啓太・大場修・青柳憲昌・坪田叡伴・多米淑人 | 582-583 | 有 |
| 3 | 青柳憲昌 | 「旧北国街道今庄宿の歴史的町並みに関する研究 —その2 近代に建設された町家の建築的特徴—」 | 共著 | 2018年9月 | 『日本建築学会大会学術講演集梗概集』 | 坪田叡伴・青柳憲昌・大場修・福井啓太・多米淑人 | 584-585 | 有 |
| 4 | 青柳憲昌 | 「滋賀県草津市常盤地区における神社本殿（一間社流造）の意匠的特徴」 | 共著 | 2018年9月 | 『日本建築学会大会学術講演集梗概集』 | 小西佐枝・青柳憲昌 | 635-636 | 有 |
| 5 | 青柳憲昌 | 「日本統治期の台湾における製糖工場の建築的特徴 —台湾における製糖工場の保存と活用 その1—」 | 共著 | 2018年9月 | 『日本建築学会大会学術講演集梗概集』 | 趙逸塵・坪田叡伴・青柳憲昌・是永美樹・斎藤英俊・平賀あまな・西川博美 | 737-738 | 有 |
| 6 | 青柳憲昌 | 「旧橋仔頭製糖工場（台湾糖業博物館）の活用 —台湾における製糖工場の保存と活用 その2—」 | 共著 | 2018年9月 | 『日本建築学会大会学術講演集梗概集』 | 西川博美・平賀あまな・斎藤英俊・青柳憲昌・是永美樹・坪田叡伴・趙逸塵 | 739-740 | 有 |
| 7 | 青柳憲昌 | 「旧車路壠製糖工場（十鼓仁徳文創園区）の活用 台湾における製糖工場の保存と活用 その3」 | 共著 | 2018年9月 | 『日本建築学会大会学術講演集梗概集』 | 平賀あまな・西川博美・斎藤英俊・青柳憲昌・是永美樹・坪田叡伴・趙逸塵 | 741-742 | 有 |
| 8 | 泉知論 | Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor | 共著 | 2018年12月 | Journal of Image and Graphics(6巻2号) | Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, and Hironori Yamauchi | 167-173 | 有 |
| 9 | 伊津野和行 | AE法によるゴム内部の剥離音検出精度の確認実験 | 共著 | 2018年5月 | 土木学会論文集A1(構造・地震工学)(74巻2号) | 川崎佑磨・田中陽裕・寺村直人・植田健介・伊津野和行 | 241-250 | 有 |
| 10 | 伊津野和行 | 材料の損傷に基づく下水道施設の耐震性能照査に関する基礎的研究 | 共著 | 2018年7月 | コンクリート工学年次論文集(40巻2号) | 福江清久・伊津野和行 | 811-816 | 有 |
| 11 | 伊津野和行 | 繰返しせん断変形が積層ゴム支承のAE特性に与える影響 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集A1(構造・地震工学)(74巻4号) | 田中陽裕・川崎佑磨・植田健介・伊津野和行 | I_481-I_489 | 有 |
| 12 | 伊津野和行 | 鋼板とコンクリート間の接着剥離面積が衝撃弾性波法における検出波形に与える影響 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集A1(構造・地震工学)(74巻4号) | 康田雄太・櫻井裕隆・川崎佑磨・伊津野和行 | I_490-I_496 | 有 |
| 13 | 伊津野和行 | 部分的フェアリングによる橋に作用する水の流体力軽減効果に関する研究 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集A1(構造・地震工学)(74巻3号) | 川崎肇・伊津野和行 | 431-439 | 有 |
| 14 | 大窪健之 | Traditional Knowledge of Disaster-Resilient Designs in World Cultural Heritage, Japan - For consisting Cultural Conservation and Disaster Mitigation - | 単著 | 2018年6月 | Abitare la Terra n.46-47/2018 - Dwelling on Earth (international A class magazine) (No.46+47巻) | Takeyuki Okubo | 32-33 | 有 |
| 15 | 大窪健之 | 重要文化財・道後温泉本館の改修へ向けた公衆浴場の避難計画に関する研究 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12号) | 大窪健之, 鷲尾龍之介, 金度源, 林倫子 | 113-120 | 有 |
| 16 | 大窪健之 | 地震火災時の文化財建造物に対する防火対策検討プロセスの開発 —東福寺及び周辺地区を事例として— | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12号) | 荒川昭治, 加村大輔, 中畑摩耶, 大窪健之, 金度源 | 137-144 | 有 |
| 17 | 大窪健之 | 避難所設備の評価に基づく寺院・公益施設の活用可能性に関する研究 ~福井県若狭町熊川宿重伝建地区を対象 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12号) | 福永靖史, 大窪健之, 金度源 | 177-184 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|-------|--|----|----------|--|---|------------|---|
| | | として～ | | | | | | |
| 18 | 大窪健之 | 重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案 ～島根県津和野重伝建地区を対象として～ | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12号) | 中林秀光, 大窪健之, 金度源 | 241-246 | 有 |
| 19 | 大窪健之 | 特集:文化財防災に関する特集「歴史都市における地震時の延焼火災対策～京都市上京区周辺の防災水利評価」 | 共著 | 2018年10月 | 火災・日本火災学会(356号) | 大窪健之、内藤翔、金度源 | 14-19 | 有 |
| 20 | 大窪健之 | Evaluation of the fire spreading risk triggered by earthquake and proposal for risk mitigation measures using existing water environment for wooden buildings in historic area of Kyoto, Japan | 共著 | 2018年11月 | ICBR 2018: 8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON BUILDING RESILIENCE | Takeyuki Okubo, Tsubasa Naito, Down Kim and Michiko Hayashi | | 有 |
| 21 | 大窪健之 | 伝建地区における防災訓練の実施とその改善提案 一島根県・津和野重要伝統的建造物群保存地区を対象として一 | 共著 | 2018年11月 | 建築防災・一般財団法人日本建築防災協会(2018年11月号巻) | 大窪健之、中林秀光、金度源 | 41-46 | 有 |
| 22 | 大窪健之 | Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan | 共著 | 2018年11月 | ICBR 2018: 8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON BUILDING RESILIENCE | Down Kim, Hiroki Tanaka, Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi | | 有 |
| 23 | 大窪健之 | 複合連結式天守の国宝松本城における実践的な避難誘導方法に関する研究 | 共著 | 2019年2月 | 日本建築学会計画系論文集(84巻756号) | 小西慶哉, 大窪健之, 金度源 | 507-515 | 有 |
| 24 | 小川圭一 | 団体客を考慮した歴史都市における観光客の避難場所と避難経路に関する研究 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(Vol.12巻) | 小川圭一, 安隆浩 | pp.129-136 | 有 |
| 25 | 小川圭一 | 地方自治体における自転車通行空間の整備形態の種類と選定基準の比較分析 | 共著 | 2018年8月 | 第38回交通工学研究発表会論文集 | 小川圭一, 伊藤美早子, 安隆浩 | pp.725-730 | 有 |
| 26 | 鐘ヶ江秀彦 | PLANNING PARADIGM SHIFT FOR URBAN SYSTEMS IN OUR NEAR FUTURE | 単著 | 2018年 | Proceedings, 12th World Congress of the RSAI; Spatial Systems: Social Integration, Regional Development and Sustainability | Hidehiko KANEGAE | 1073-1078 | 有 |
| 27 | 鐘ヶ江秀彦 | A STUDY ON EFFECT ON QUALITY OF LIFE BY "INFORMATION MISMATCH" AMONG RESIDENTS AND PUBLIC SECTOR AFTER AN EARTHQUAKE IN HISTORIC CITIES - CASE STUDY IN L' AQUILA ITALY | 共著 | 2018年 | Proceedings, 12th World Congress of the RSAI; Spatial Systems: Social Integration, Regional Development and Sustainability | Hiroari Shimizu, Quirino Crosta2, Micaela Merucuri, Ryoya Tomeno, Satoru Ono, Hidehiko Kanegae, Paola Rizzi | 1073-1078 | 有 |
| 28 | 川崎佑磨 | AE法によるゴム内部の剥離音検出精度の確認実験 | 共著 | 2018年7月 | 土木学会論文集A1(構造・地震工学)(74巻2号) | 川崎佑磨, 田中陽裕, 寺村直人, 植田健介, 伊津野和行 | 241-250 | 有 |
| 29 | 川崎佑磨 | RI法を援用したポーラスコンクリートの品質評価手法の現場施工への適用と有効測定範囲に関する研究 | 共著 | 2018年7月 | コンクリート工学年次論文集(40巻1号) | 王子哲, 安部良介, 岡本享久, 川崎佑磨 | 1359-1364 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|----|----------|---|--|---------------|---|
| 30 | 川崎佑磨 | 繰返しせん断変形が積層ゴム支承の AE 特性に与える影響 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集A1 (構造・地震工学) (74 巻 4 号) | 田中陽裕、川崎佑磨、植田健介、伊津野和行 | 481-489 | 有 |
| 31 | 川崎佑磨 | 鋼板とコンクリート間の接着剥離面積が衝撃弾性波法における検出波形に与える影響 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集A1 (構造・地震工学) (74 巻 4 号) | 康田雄太、櫻井裕隆、川崎佑磨、伊津野和行 | 490-496 | 有 |
| 32 | 河角直美 | デジタルアーカイブ写真を活用した景観理解支援システムの研究ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー | 共著 | 2018年11月 | 日本建築学会、建築教育研究論文報告集ー第 18 回建築教育シンポジウムー、No. 18 | 高橋彰、山本峻平、佐藤弘隆、河角直美、井上学、矢野桂司、北本朝展 | pp. 35-41 | 有 |
| 33 | 河角直美 | 近代京都における土地利用と地形環境 | 単著 | 2019年3月 | 立命館大学環太平洋文明研究センター、環太平洋文明研究、3号 | | 頁未定 | 有 |
| 34 | 金度源 | 避難所設備の評価に基づく寺院・公益施設の活用可能性に関する研究 : 福井県若狭町熊川宿重伝建地区を対象として | 共著 | 2018年7月 | 『歴史都市防災論文集』、Vol. 12 立命館大学 歴史都市防災研究所 | 福永靖史、大窪健之、金度源 | pp. 177-184 | 有 |
| 35 | 金度源 | 重要文化財・道後温泉本館の改修へ向けた公衆浴場の避難計画に関する研究 | 共著 | 2018年7月 | 『歴史都市防災論文集』、Vol. 12 立命館大学 歴史都市防災研究所 | 大窪健之、鷺尾龍之介、金度源、林倫子 | pp. 113-120 | 有 |
| 36 | 金度源 | 地震火災時の文化財建造物に対する防火対策検討プロセスの開発 : 東福寺及び周辺地区を事例として | 共著 | 2018年7月 | 『歴史都市防災論文集』、Vol. 12 立命館大学 歴史都市防災研究所 | 荒川昭治、加村大輔、中畑摩耶、大窪健之、金度源 | pp. 137-144 | 有 |
| 37 | 金度源 | Evaluation of the fire spreading risk triggered by earthquake, and proposal for risk mitigation measures using existing water environment for wooden buildings in historic area of Kyoto, Japan | 共著 | 2018年11月 | ICBR2018, 3A/4F-2 electronical published | Takeyuki Okubo, Tsubasa Naito, Dowon Kim, Michiko Hayashi | | 有 |
| 38 | 金度源 | Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan | 共著 | 2018年11月 | ICBR2018, 3A/4F-1 electronical published | Dowon Kim, Hiroki Tanaka, Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi | | 有 |
| 39 | 金度源 | 歴史都市における地震時の延焼火災対策ー京都市上京区周辺の防災水利評価 (依頼原稿) | 共著 | 2018年10月 | 日本火災学会、火災誌 356 号 | 大窪健之、内藤翔、金度源 | | 有 |
| 40 | 金度源 | 韓国の国指定文化財建造物における火災対策 (依頼原稿) | 共著 | 2018年12月 | 日本火災学会、火災誌 357 号 | 金度源、金セヒョン | | 有 |
| 41 | 小林泰三 | 拡張翼型アースアンカーの実用化にむけた基礎的研 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 河野恒太、中橋明久、福島信夫、藤本将光、小林泰三、深川良一 | pp. 226-230 | 有 |
| 42 | 里深好文 | 雲仙岳の噴火後 20 年を経過した火砕流堆積斜面における土石流発生場の地形・地質特性 | 共著 | 2018年9月 | 砂防学会誌(71 巻 3 号) | 平川泰之・岡野和行・植野利康・堤大三・宮田秀介・里深好文 | pp. 12-20 | 有 |
| 43 | 里深好文 | 異なる地形データを用いた土石流の到達範囲の検討ー扇状地の土地利用を考慮してー | 共著 | 2018年10月 | 自然災害科学(37 巻特別号) | 中谷加奈・林聖也・長谷川祐治・小杉賢一朗・里深好文 | 107-118 | 有 |
| 44 | 里深好文 | 掃流区間におけるコンクリート・スリット堰堤の流木処理機能に関する提案 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集B1 (水工学) (74 巻 5 号) | 原田紹臣・中谷加奈・木村一郎・里深好文・水山高久 | I_1075-I_1080 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|------|--|----|----------|--|---|---------------|---|
| 45 | 里深好文 | 山地河川を対象としたワンスパン橋梁への流木閉塞に関する検討 | 共著 | 2018年11月 | 土木学会論文集B1 (水工学) (74 巻 5号) | 中谷加奈・長谷川祐治・里深好文 | I_1081-I_1086 | 有 |
| 46 | 里深好文 | 平成30年7月豪雨による関西における災害 | 共著 | 2018年11月 | 砂防学会誌(71 巻 4号) | 里深好文・小杉賢一朗・中谷加奈・正岡直也・岡野和行・笠原拓造・柳崎剛・山口雄一 | 38-48 | 有 |
| 47 | 里深好文 | LP データを用いた一次元解析データ作成手法提案—地形形状と溪流幅の影響— | 共著 | 2019年1月 | 砂防学会誌(71 巻 5号) | 梶山敬司・和田孝志・里深好文 | 24-31 | 有 |
| 48 | 里深好文 | 土砂流入災害をもたらす降雨の空間分布特性と降雨モニタリングに関する研究 | 共著 | 2019年3月 | 土木学会論文集B1 (水工学) (75 巻 1号) | 森泰樹・佐々木良・藤井昌隆・杉山友康・里深好文 | pp. 1-14 | 有 |
| 49 | 鈴木祥之 | 土塗り壁の耐力を用いた土塗り小壁の骨格曲線評価 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集 Vol. 12 | 山田 耕司、中治弘行、長瀬 正、鈴木、祥之 | 15-22 | 有 |
| 50 | 鈴木祥之 | 垂れ壁と腰壁で分割された無開口土塗り壁の復元力特性 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集 Vol. 12 | 中治弘行、鈴木祥之、長瀬正 | 23-30 | 有 |
| 51 | 鈴木祥之 | 壁土の改良方法に関する基礎研究 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集 Vol. 12 | 須田 達、鈴木祥之 | 505-510 | 有 |
| 52 | 鈴木祥之 | Seismic Performance of a Wooden Siding Board Fitted in a Frame of Penetrating Tie Beam Based on Dynamic and Static Loading Tests | 共著 | 2018年8月 | Proceedings of The 2018 World Conference on Timber Engineering (WCTE 2018) | 白井悠吾、岩本いづみ、棚橋秀光、鈴木祥之 | pp. 1-8 | 無 |
| 53 | 鈴木祥之 | 木材載荷ブロックを用いた伝統木造 T 字型仕口の回転めり込み特性と定式化 | 共著 | 2019年2月 | 日本建築学会構造系論文集、Vol. 84, No. 756 | 棚橋秀光、鈴木祥之 | | 有 |
| 54 | 高橋学 | 環境史からみた信長の時代Ⅱ —小氷期と豊年まつり— | 単著 | 2018年3月 | 立命館人文学会 立命館文学 | 高橋学 | 75-96 | 有 |
| 55 | 高橋学 | 内陸直下型地震・火山噴火・プレート型地震発生モデル—巨大地震・大地震・火山噴火発生前後— | 単著 | 2018年3月 | 環太平洋文明研究2 | 高橋学 | pp. 1-16 | 有 |
| 56 | 豊田祐輔 | Gaming Simulations as the Medium for Disaster Education in Schools and Community-based Disaster Risk Reduction | 単著 | 2018年7月 | Internet Journal of Society for Social Management Systems (11 巻 2号) | Toyoda Yusuke | 80-90 | 有 |
| 57 | 豊田祐輔 | 観光客の防災意識に影響する要因に関する研究-世界遺産姫路城を事例に- | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12 巻) | 酒井宏平・豊田祐輔・鐘ヶ江秀彦 | 121-128 | 有 |
| 58 | 豊田祐輔 | PBL 型短期間国際ワークショップによる社会人基礎力成長モデルに関する研究 | 単著 | 2019年3月 | 地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要-(8 号) | 豊田祐輔 | 98-109 | 有 |
| 59 | 花岡和聖 | Analysis of climatic factors leading to future summer heatstroke risk changes in Tokyo and Sendai based on dynamical downscaling of pseudo global warming data using WRF | 共著 | 2018年 | Journal of Wind Engineering and Industrial Aerodynamics (183 巻) | Miguel Yamamoto, Masataka Kasai, Tsubasa Okaze, Kazumasa Hanaoka, Akashi Mochida, | 187-197 | 有 |
| 60 | 平尾和洋 | オートマチック・ドローイングを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察 | 共著 | 2018年5月 | 日本建築学会計画系論文集 (83 巻 747 号) | 遠藤直久、藤関利光、平尾和洋 | 869-876 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|------|--|----|----------|--|---|------------|---|
| 61 | 平尾和洋 | 山梨県早川流域における兜造り民家の残存および防火意匠の現状調査 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(vol.12巻) | 遠藤直久, 小林和敬, 平尾和洋 | 153-160 | 有 |
| 62 | 平尾和洋 | 福島県西会津町奥川流域における中門造民家の残存状況及び防火性能に関する現状調査 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(Vol.12巻) | 平尾和洋, 小池潤 | 145-152 | 有 |
| 63 | 平尾和洋 | 京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(Vol.12巻) | 平尾和洋, 石川一平 | 161-168 | 有 |
| 64 | 平尾和洋 | ルイス・カーンのキーワード連関に基づいた発想・設計支援ツールの改良と実務設計者の設計プロセスに関する考察 | 共著 | 2018年10月 | 日本建築学会技術報告集(第24巻第58号) | 遠藤直久, 前原竹二, 石川一平, 平尾和洋 | 1201-1206 | 有 |
| 65 | 深川良一 | 無線センサネットワークを利用した斜面内の負の間隙水圧の長期多点計測システム | 共著 | 2018年5月 | 土木学会論文集, Vol. 74, No. 2 | 酒匂一成, 横田裕介, 里見知昭, 檀上徹, 深川良一 | pp.144-163 | 有 |
| 66 | 深川良一 | Estimation of initial void ratio of consolidation clay based on one-dimensional consolidation theory | 共著 | 2018年7月 | International Journal of GEOMATE, Vol.14 | Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto, Ryoichi Fukagawa | pp.51-56 | 有 |
| 67 | 深川良一 | Structural simulation on an OPEN-WING-TYPE Ground Ancho | 共著 | 2018年7月 | International Journal of GEOMATE, Vol.14 | Kota Kono, Akihisa Nakahashi, Dong Daicho, Nobuo Fukushima, Ryoichi Fukagawa | pp.89-94 | 有 |
| 68 | 深川良一 | liquefaction simulation for the Osaka gulf coast using the LIQCA program | 共著 | 2018年7月 | International Journal of GEOMATE, Vol.14 | Tetsuya Okano, Keita Sugito, Ryoichi Fukagawa | pp.1-6 | 有 |
| 69 | 深川良一 | Liquefaction simulation and related behavior of underground structure on Osaka gulf coast | 共著 | 2018年7月 | International Journal of GEOMATE, Vol.14 | Keita Sugito, Tetsuya Okano, Ryoichi Fukagawa | pp.10-15 | 有 |
| 70 | 深川良一 | 地下水排除工前後の地下水位変動特性の分析ー世界遺産熊野参詣道「横垣峠」地すべりの地下水位観測例ー | 共著 | 2018年9月 | 日本地すべり学会誌, 第55巻, 第4号 | 石田優子, 木林幹, 古根川竜夫, 深川良一 | pp.18-23 | 有 |
| 71 | 深川良一 | 横垣峠地すべりににおける地下水位の変動特性 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 石田優子, 深川良一, 古根川竜夫, 木林幹, 後誠介 | 6頁 | 有 |
| 72 | 深川良一 | 超音波導波管を用いた透水性の空間分布と水分状態の把握 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 | 6頁 | 有 |
| 73 | 深川良一 | 室内降雨実験に基づくパイプ流周辺における地下水位変動に関する考察 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo Symposium2018 論文集 | 伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 | 6頁 | 有 |
| 74 | 深川良一 | 液状化がトンネル浮き上がり現象に及ぼす影響に関する数値シミュレーション | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 杉藤溪太, 岡野哲也, 深川良一 | 6頁 | 有 |
| 75 | 深川良一 | 液状化解析プログラムLIQCAを用いた大阪湾岸盛土地盤における列車荷重による液状化被 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 岡野哲也, 杉藤溪太, 深川良一 | 6頁 | 有 |

| | | | | | | | | |
|----|------|---|----|----------|--|--|---------|---|
| | | 害の検証 | | | | | | |
| 76 | 深川良一 | 拡張翼型アンカーの実用化にむけた基礎的研究 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 河野恒太, 中橋明久, 福島信夫, 藤本将光, 小林泰三, 深川良一 | 6頁 | 有 |
| 77 | 深川良一 | 地震後に発生する亀裂を模した盛土斜面における降雨浸透特性に関する研究 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium2018 論文集 | 藤本将光, 野中慎介, 平岡伸隆, 深川良一 | 6頁 | 有 |
| 78 | 深川良一 | Calculation on dispersal pollutants in air environment of Samsung Group's mobile phone manufacturing factory complex in Vietnam | 共著 | 2018年9月 | Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S1-12 | Cuong T. Nguyen, Manh V. Dinh, Ba T. Dang and R. Fukagawa | 8頁 | 有 |
| 79 | 深川良一 | Investigation of dynamic deformation of cylindrical specimen based on 3d SPH analysis and experiment | 共著 | 2018年9月 | Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-2 | T. Okano, Y. Sumi, T. Matsuo and R. Fukagawa | 8頁 | 有 |
| 80 | 深川良一 | Numerical simulation on the influence of liquefaction on underground structure | 共著 | 2018年9月 | Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-3 | K. Sugito, T. Okano and R. Fukagawa | 8頁 | 有 |
| 81 | 深川良一 | Fundamental study on design criterion for open-wing-type ground anchor | 共著 | 2018年9月 | Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-4 | K. Kono, A. Nakahashi and R. Fukagawa | 7頁 | 有 |
| 82 | 深川良一 | Effects of floods on the Wat Krasai Stupa in Ayutthaya, Thailand | 共著 | 2018年9月 | Proc. of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and the Environmental Issues, S2-5 | Y. Ishida, A. Oya, C. Denpaiboon, W. Suanpaga, C. Trakulphudphon g and R. Fukagawa | 8頁 | 有 |
| 83 | 福水洋平 | 多重構造とした畳み込みニューラルネットワークによる劣化したナンバープレート画像の平仮名認識 | 共著 | 2018年5月 | 信号処理学会誌(22巻3号) | 辻広生, 福水洋平, 道関隆国, 山内寛紀 | 121-134 | 有 |
| 84 | 福水洋平 | Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor | 共著 | 2018年5月 | Proceedings of 10th International Conference on Digital Image Processing | M. Suhail, Y. Fukumizu, T. Izumi and H. Yamauchi | | 有 |
| 85 | 福水洋平 | Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor | 共著 | 2018年12月 | Journal of Image and Graphics(6巻2号) | M. Suhail, Y. Fukumizu, T. Izumi and H. Yamauchi | 167-173 | 有 |
| 86 | 福水洋平 | Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area | 共著 | 2019年1月 | Proceedings of 4th International Conference of Multimedia and Image Processing | S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, and H. Yamauchi | 184-190 | 有 |
| 87 | 福水洋平 | Illuminance-robust semipermanent 2D porous code | 共著 | 2019年1月 | Proceedings of International Conference on Electronics, Information, and Communication | K. Kimura, A. Ohashi, Y. Fukumizu, T. Douseki | | 有 |
| 88 | 福水洋平 | Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction | 共著 | 2019年3月 | Proceedings of 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing | S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, and H. Yamauchi | | 有 |
| 89 | 福水洋平 | Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction | 共著 | 2019年3月 | Journal of Image and Graphics(7巻1号) | Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi, Hironori Yamauchi | pp.9-17 | 有 |
| 90 | 福山智子 | THE FROST EVALUATION OF DRIED CONCRETE USING RECYCLED COARSE AGGREGATE BY | 共著 | 2018年7月 | コンクリート工学年次論文集 | 馬徳群, 都築敦大, 福山智子, 千歩修 | | 有 |

| | | | | | | | | |
|-----|------|--|----|----------|--|--|---------|---|
| | | THE ACCELERATED FREEZE-THAW TEST AND THE CRITICAL DEGREE OF SATURATION TEST | | | | | | |
| 91 | 福山智子 | WATER ABSORPTION PROPERTIES OF CONCRETE USING SURFACE PENETRANTS INFLUENCED BY VARIOUS FREEZING AND THAWING CONDITIONS | 共著 | 2018年7月 | コンクリート工学年次論文集 | 全青青, 千歩修, 福山智子, 馬徳群 | | 有 |
| 92 | 福山智子 | コンクリートの各種性状が交流インピーダンスの周波数応答特性に及ぼす影響 | 共著 | 2018年7月 | コンクリート工学年次論文集 | 岡本祐輝, 福山智子, 千歩修 | | 有 |
| 93 | 福山智子 | プレストレストコンクリートを構成する材料の電気化学的判別に関する基礎的検討 | 共著 | 2018年7月 | コンクリート工学年次論文集 | 福山智子, 岡本祐輝, 千歩修 | | 有 |
| 94 | 福山智子 | 染色浸透探傷試験によるコンクリートの凍害深さの簡易的な評価方法 | 共著 | 2018年10月 | コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集 | 米谷伶, 都築敦大, 千歩修, 福山智子 | | 有 |
| 95 | 藤本将光 | 地震後に発生する亀裂を模した盛土斜面における降雨浸透特性に関する研究 | 共著 | 2018年 | Kansai Geo-Symposium 2018(6巻) | 1. 藤本将光, 野中慎介, 平岡伸隆, 深川良一 | 239-244 | 有 |
| 96 | 藤本将光 | 地下水環境に配慮した構造物の基礎補強対策工に関する研究 | 共著 | 2018年 | Kansai Geo-Symposium 2018(6巻) | 原田紹臣, 藤本将光, 小西成治, 疋田信晴 | 169-174 | 有 |
| 97 | 藤本将光 | 京都府綾部市安国寺裏斜面を対象とした動態モニタリング(その1) | 共著 | 2018年 | Kansai Geo-Symposium 2018(6巻) | 矢野晴彦, 小田和広, 小泉圭吾, 藤本将光, 河島弘輔 | 200-205 | 有 |
| 98 | 藤本将光 | 網状鉄筋挿入工における杭設置条件の違いが堰堤基礎補強機能に与える影響 | 共著 | 2018年 | 第9回土砂災害に関するシンポジウム論文集 | 原田紹臣, 藤本将光, 小西成治, 疋田信晴 | 印刷中 | 有 |
| 99 | 藤本将光 | 地盤環境に配慮した歴史的建造物の基礎補強対策工に関する提案 | 共著 | 2018年 | 歴史都市防災論文集(12巻) | 原田紹臣, 藤本将光, 里深好文, 小西成治, 疋田信晴 | 201-208 | 有 |
| 100 | 藤本将光 | 室内降雨実験に基づくパイプ流周辺における地下水位変動に関する考察 | 共著 | 2018年 | Kansai Geo-Symposium 2018(6巻) | 伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 | 249-252 | 有 |
| 101 | 藤本将光 | 拡張翼型アンカーの実用化にむけた基礎的研究 | 共著 | 2018年 | Kansai Geo-Symposium 2018(6巻) | 河野恒太, 中橋明久, 福島信夫, 藤本将光, 小林泰三, 深川良一 | 226-230 | 有 |
| 102 | 藤本将光 | 超音波導波管を用いた透水性の空間分布と水分状態の把握 | 共著 | 2018年 | Kansai Geo-Symposium 2018(6巻) | 稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 | 175-178 | 有 |
| 103 | 藤本将光 | Estimation of initial void ratio of consolidated clay based one-dimensional consolidation theory | 共著 | 2018年 | International Journal of GEOMATE(14巻46号) | Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa | 51-56 | 有 |
| 104 | 持田泰秀 | 免震レトロフィットにおける仮受工法の工程歩掛に関する研究 | 共著 | 2018年7月 | 日本建築学会第33回建築生産シンポジウム | 伊原大貴, 持田泰秀 | 77-82 | 有 |
| 105 | 持田泰秀 | 熱可塑性樹脂を用いた炭素繊維ストランドロッドの開発ー接合部と撚り性能に関する研究ー | 共著 | 2018年11月 | 土木学会第7回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム | 櫻井祥人, 持田泰秀 | 80-87 | 有 |
| 106 | 矢野桂司 | Uncovering inequality through multifractality of land prices: 1912 | 共著 | 2018年4月 | PLoS ONE(13巻4号) | Salat H, Murcio R, Yano K, Arcaute E | | 有 |

| | | | | | | | | |
|-----|------|---|----|----------|--|--|-------------|---|
| | | and contemporary Kyoto. | | | | | | |
| 107 | 矢野桂司 | ジオデモグラフィクスからみた教育水準の学校間格差の評価: 大阪市を事例として | 共著 | 2018年5月 | 人文地理(70巻2号) | 上杉昌也・矢野桂司 | 253-271 | 有 |
| 108 | 矢野桂司 | 学会展望「数理・計量・地理情報」 | 単著 | 2018年11月 | 人文地理(70巻3号) | 矢野桂司 | 374-377 | 有 |
| 109 | 矢野桂司 | 英国の地図事情 | 単著 | 2018年12月 | 地理(63巻2018号) | 矢野桂司 | 18-25 | 有 |
| 110 | 矢野桂司 | 京町家の空き家の現状と課題 | 共著 | 2019年3月 | 統計(70巻2号) | 矢野桂司・佐藤弘隆(2019)、 | pp.9-15 | 有 |
| 111 | 山田悟史 | 松山城における非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究ーマルチエージェントを用いた避難シミュレーションー | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12巻) | 中島昌暉, 山田悟史 | pp107-112 | 有 |
| 112 | 山田悟史 | 没入型仮想空間における空間知覚の研究ーパーソナルスペースの検討を想定した距離の知覚と心理評価を対象としてー | 共著 | 2018年10月 | 日本建築学会 技術報告論文集(58号) | 山田悟史, 北本英里子, 神長伸之, 及川清昭 | pp1303-1307 | 有 |
| 113 | 山田悟史 | A study on the formation of environmental recognition by dwelling unit location and residential floor in collective housing in a super-high-rise building | 共著 | 2019年3月 | Japan Architectural Review(2巻1号) | Shichun Zong, Hiroto Ohuchi, Toshihiro Kimura and Satoshi Yamada | | 有 |
| 114 | 石田優子 | ESTIMATION OF INITIAL VOID RATIO OF CONSOLIDATED CLAY BASED ON ONE-DIMENSIONAL CONSOLIDATION THEORY | 共著 | 2018年6月 | International Journal of GEOMATE(14巻 Issue 46号) | Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa | 51-56 | 有 |
| 115 | 石田優子 | 大阪府の「式内社」の立地傾向と災害危険性から見た古代の神観念 | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12巻) | 栗原拓大, 青柳憲昌, 石田優子 | 83-90 | 有 |
| 116 | 石田優子 | 地下水排除工前後の地下水変動特性の分析ー世界遺産熊野参詣道「横垣峠」地すべりの地下水位観測例ー | 共著 | 2018年7月 | 地すべり学会誌(55巻4号) | 石田優子, 木林幹, 古根川竜夫, 深川良一 | 18-23 | 有 |
| 117 | 石田優子 | EFFECTS OF FLOODS ON THE WAT KRASAI STUPA IN AYUTTHAYA, THAILAND | 共著 | 2018年9月 | Proceedings of the 2nd Joint Seminar on Landslide, Flood Disasters and Environmental Issues | Y. Ishida, A. Oya, W. Suanpaga, C. Trakulphudphong, R. Fukagawa | S2-5 | 有 |
| 118 | 石田優子 | Influence of floods on the inclination of stupas in Ayutthaya Thailand | 共著 | 2018年11月 | Proceeding of 8th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment | Yuko Ishida, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon, Ryoichi Fukagawa | 926-931 | 有 |
| 119 | 石田優子 | 横垣峠地すべりに関する地下水位の変動特性 | 共著 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium 2018ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム論文集 | 石田優子, 深川良一, 古根川竜夫, 木林幹, 後誠介 | 185-190 | 有 |
| 120 | 酒井宏平 | 観光客の防災意識に影響する要因に関する研究: 世界遺産姫路城を事例に | 共著 | 2018年7月 | 立命館大学歴史都市防災研究所、歴史都市防災論文集(12号) | 酒井宏平, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦 | 121-128 | 有 |

| | | | | | | | | |
|-----|-----|--|----|----------|---|-------------------------|---------|---|
| 121 | 谷端郷 | 津波地名や由来は継承されるのか？—山奈宗真著『岩手沿岸古地名考全』の追跡調査— | 共著 | 2018年2月 | 地理科学(72巻4号) | 村中亮夫・谷端郷・塚本章宏・花岡和聖・磯田 弦 | 223-246 | 有 |
| 122 | 谷端郷 | マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題—「第11回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告— | 共著 | 2018年3月 | 京都歴史災害研究第(19号) | 谷端郷・崔明姫・石田優子 | 51-58 | 有 |
| 123 | 谷端郷 | 災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用—禹王遺跡展の事例から— | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12号) | 大邑潤三・片山正彦・谷端郷 | 267-274 | 有 |
| 124 | 谷端郷 | 被災後の町の復興を支える神輿渡御—宮城県南三陸町保呂羽神社の春祭り— | 共著 | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(12号) | 谷端郷・板谷(牛谷)直子・中谷友樹 | 193-200 | 有 |
| 125 | 谷端郷 | 京都・鴨川の禹王伝説 | 単著 | 2018年11月 | 地理(63巻11号) | 谷端郷 | 14-19 | 有 |
| 126 | 谷端郷 | ストーリーマップを活用した防災教材の作成とその意義 | 共著 | 2018年11月 | 情報処理学会シンポジウムシリーズ(人文科学とコンピュータシンポジウム論文集)(2018巻1号) | 谷端郷・中谷友樹 | 169-174 | 有 |
| 127 | 谷端郷 | マップコンテストによる子どもの防災・防犯教育への取り組みの成果と課題—「第12回夏休みにみんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告— | 共著 | 2019年3月 | 京都歴史災害研究(第20号) | 谷端郷・酒井宏平・石田優子 | 35-41 | 有 |

| 3. 研究発表等 | | | | | |
|----------|-------|--|----------|---|---|
| No. | 氏名 | 発表題名 | 発表年月 | 発表会議名、開催場所 | その他発表者名 |
| 1 | 青柳憲昌 | 「富田林寺内町の町並みと防災文化」 | 2018年4月 | 立命館大学歴史都市防災研究所見学会 | 単著 |
| 2 | 青柳憲昌 | 「草津市の歴史的建築」 | 2018年7月 | アーバンデザインスクール前期第2回 | 単著 |
| 3 | 青柳憲昌 | 「法隆寺昭和大修理による金堂壁画防災対策と収蔵庫建築」 | 2019年1月 | 立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会 | 単著 |
| 4 | 青柳憲昌 | 「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 中間報告」 | 2019年1月 | 第4回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ(第4回)全体会合/法隆寺金堂壁画保存活用委員会(第5回) | 単著 |
| 5 | 青柳憲昌 | 「中間報告〈アーカイブWG〉」 | 2019年2月 | 「—法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂壁画、未来へ」 | |
| 6 | 泉知論、他 | Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor | 2018年5月 | 10th International Conference on Digital Image Processing (ICDIP2018), EC0126 | Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi |
| 7 | 泉知論、他 | プログラマブル SoC による自律移動ロボット向けプラットフォームの構築 | 2018年5月 | 第62回 システム制御情報学会 研究発表講演会(SCT'18), 313-4 | 工藤裕也, 高田厚志, 泉知論 |
| 8 | 泉知論、他 | FPGA 向け高位合成用ライブラリを用いた動画処理の試行 | 2018年5月 | 第62回 システム制御情報学会 研究発表講演会(SCT'18), 313-3 | 高田厚志, 工藤裕也, 泉知論 |
| 9 | 泉知論 | FPGA 搭載ロボット・カーの製作と大学院講義への展開 | 2018年7月 | 第4回人工知能とHW/SW 協調設計ワークショップ | 単著 |
| 10 | 泉知論、他 | 画像処理を用いた甲骨文字認識 | 2018年7月 | 画像ラボ G1805-03 p.44-51 | 孟林, 泉知論, 山崎勝弘 |
| 11 | 泉知論、他 | プログラマブル SoC を用いた自動運転システムのためのプラットフォームの構築 | 2018年9月 | 第8回相磯秀夫杯 FPGA デザインコンテスト | 工藤裕也, 高田厚志, 津田壮士, 堺拓実, 泉知論 |
| 12 | 泉知論 | FPGA による小型自動運転車の開発事例 | 2018年10月 | ROS Japan UG #26 | 単著 |
| 13 | 泉知論、他 | a Platform on All-Programmable SoC for Micro Autonomous Robots | 2018年12月 | 2018 International Conference on Field-Programmable Technology (FPT'18), pp.406-409, DOI: | Yuya Kudo, Atsushi Takada, Soji Tsuda, Takumi Sakai, Tomonori Izumi |

| | | | | | |
|----|-------------|--|----------|--|---|
| | | | | 10. 1109/FPT. 2018. 00085 | |
| 14 | 泉知論、 他 | Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area | 2019年1月 | 4th International Conference on Multimedia and Image Processing (ICMIP2019), 6-A0007, pp.29-35 | Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi |
| 15 | 泉知論 | FPGA ベース AI システムの開発 | 2019年1月 | 第3回VLSI センターシンポジウム | 単著 |
| 16 | 泉知論、 他 | 野生動物自動認識のためのデータベースの構築と深層学習の試行 | 2019年3月 | 画像電子学会 第 288 回研究会予稿 18-03-12, pp.66-71 | 宮下洸大, 初田慎弥, 孟林, 泉知論 |
| 17 | 泉知論、 他 | 土地利用別面積推定のための地図の自動領域分類手法 | 2019年3月 | 画像電子学会 第 288 回研究会予稿 18-03-13, pp.72-78 | 高須柁樹, 渡邊清威, 孟林, 泉知論 |
| 18 | 泉知論、 他 | 甲骨拓本からの自動文字抽出手法と支援環境 | 2019年3月 | 画像電子学会 第 288 回研究会予稿 18-03-14, pp.79-84 | 渡邊清威, 孟林, 泉知論 |
| 19 | 泉知論、 他 | モンテカルロ法に基づいた駒属性推定によるガイスターゲームAI | 2019年3月 | the 3rd Game AI Tournament (GAT2019) | 園田夕莉, 泉知論 |
| 20 | 泉知論、 他 | Example-based Face-image Restroration for Block-noise Reduction | 2019年3月 | 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing (ICFIP2018), 15-P102 | Suhail Hamdan, Yohei Fukumizu, Tomonori Izumi and Hironori Yamauchi |
| 21 | 伊津野和 行、他 | 衝撃弾性波法による鋼板とコンクリート間の接着剥離箇所の評価 | 2018年8月 | 土木学会第73回年次学術講演会 | 康田雄太・川崎佑磨・伊津野和行 |
| 22 | 伊津野和 行、他 | 動的相互作用を考慮した下水道施設複合構造物の非線形有限要素解析 | 2018年12月 | 第15回日本地震工学シンポジウム | 福江清久・伊津野和行 |
| 23 | 伊津野和 行、他 | 部分的フェアリングによる橋梁の対津波補強に関する研究 | 2018年12月 | 第15回日本地震工学シンポジウム | 川崎肇・伊津野和行 |
| 24 | 伊津野和 行、他 | 免震ゴム支承の内部損傷検知に関する数値解析的研究 | 2018年12月 | 第15回日本地震工学シンポジウム | 能勢侑希・伊津野和行・川崎佑磨 |
| 25 | 伊津野和 行、他 | 災害時避難におけるビックアップ行動の影響に関する一考察 | 2018年12月 | 第15回日本地震工学シンポジウム | 藤岡昌俊・伊津野和行 |
| 26 | 大窪健 之、他 | 歴史的街区の伝統的な構成要素による延焼抑止効果に関する研究～高山市三町・下二之町大新町重伝建地区の土蔵群に着目して～ | 2018年7月 | 平成30年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号・計画系 | 砂田陸, 大窪健之, 金度源 |
| 27 | 大窪健 之、他 | 寺院の防災拠点活用による帰宅困難者対策～京都駅周辺地域を対象とした有効性評価～ | 2018年7月 | 平成30年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号・計画系 | 清水弘樹, 金度源, 大窪健之 |
| 28 | 大窪健 之、他 | 地域観光サービスの活用による外国人観光客の避難誘導に関する研究～清水寺周辺地域の人力車と貸衣装店舗を対象として～ | 2018年7月 | 平成30年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号・計画系 | 高揚, 大窪健之, 金度源 |
| 29 | 大窪健 之、他 | 重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案～島根県津和野重伝建地区を対象として～ | 2018年7月 | 歴史都市防災論文集(報告), vol.12, pp.241-246 | 中林秀光, 大窪健之, 金度源 |
| 30 | 大窪健之 | Traditional Disaster-mitigation Designs in Japanese Cultural Heritages- For Consisting Cultural Conservation and Disaster Mitigation - | 2018年11月 | International Symposium on Earthquake Response for Architectural Heritage | Takeyuki Okubo |
| 31 | 鐘ヶ江秀 彦 | Shifting for Gamish Multilarity Society in our near future (Keynote in Plenary) | 2018年7月 | 49th International Simulation & Gaming Association Conference 2018 | Hidehiko Kanegae |
| 32 | 鐘ヶ江秀 彦、他 | 震災時における外国人観光客の避難行動モデリングに関する研究: 清水寺界限を事例に | 2018年10月 | 日本地域学会 第55回年次大会 学術発表論文集 | 酒井 宏平・鐘ヶ江 秀彦 |
| 33 | 鐘ヶ江秀 彦、他 | A Study on Spatial Distribution of Disaster-related Geospatial Information Availability on Local Government Websites in | 2018年10月 | 日本地域学会 第55回年次大会 学術発表論文集 | Puspita Sari KARTIKA, Hidehiko Kanegae |

| | | | | | |
|----|---------|---|----------|---|--|
| | | Indonesia | | | |
| 34 | 鐘ヶ江秀彦、他 | The Attractiveness of a Post-Mining City as a Tourist Destination from the Perspective of Visitors | 2018年10月 | 日本地域学会 第55回年次大会 学術発表論文集 | Roni ARMIS, Hidehiko Kanegae |
| 35 | 川崎 佑磨、他 | 底泥を細骨材として利用したモルタルの底泥置換率と強度特性の関係 | 2018年5月 | 第72回セメント技術大会 | 下原怜也、中川隆一、川崎佑磨 |
| 36 | 川崎 佑磨、他 | コンクリート表面の色ムラに与える諸要因の一考察 | 2018年5月 | 第72回セメント技術大会 | 下友希、川崎佑磨 |
| 37 | 川崎 佑磨、他 | Study on Effective Utilization of Porous Concrete mixed with Sediment from Lake Biwa | 2018年8月 | 4th World Congress on Materials Science & Engineering | Ryoya SHIMOHARA, Ryuichi NAKAGAWA, Yuji YAMADA and Yuma KAWASAKI |
| 38 | 川崎 佑磨、他 | Mechanical Properties of Sediment Mortar from Lake BIWA | 2018年8月 | 4th World Congress on Materials Science & Engineering | Yuma KAWASAKI and Ryoya SHIMOHARA |
| 39 | 川崎 佑磨、他 | Acoustic Characteristics of Enclosure using Cementitious Materials | 2018年8月 | 4th World Congress on Materials Science & Engineering | Masahiro TAKEUCHI, Yuji YAMADA and Yuma KAWASAKI |
| 40 | 川崎 佑磨、他 | Study on Damage location analysis of Laminated Rubber Bearing using AE method under Cyclic Compression Loading | 2018年8月 | 4th World Congress on Materials Science & Engineering | Akihiro TANAKA, Yuji YAMADA and Yuma KAWASAKI |
| 41 | 川崎 佑磨、他 | コンクリート表面に発生する白華の化学的抑制案の検討 | 2018年8月 | 土木学会第73回年次学術講演会 | 下友希、川崎 佑磨、河金 甲 |
| 42 | 川崎 佑磨、他 | 芳香成分を付与したセメントペーストに関する基礎的研究 | 2018年8月 | 土木学会第73回年次学術講演会 | 榎平 知弥、川崎 佑磨、新 大軌、兵頭 正浩 |
| 43 | 川崎 佑磨、他 | 衝撃弾性波法による鋼板とコンクリート間の接着剥離箇所の評価 | 2018年8月 | 土木学会第73回年次学術講演会 | 康田 雄太、川崎 佑磨、伊津野 和行 |
| 44 | 川崎 佑磨、他 | ヨシ粉末に含まれるリグニンを利用した新規コンクリート用混和材料の可能性 | 2018年9月 | 平成30年度農業農村工学会大会講演会 | 柴原新弥、兵頭正浩、緒方英彦、新大軌、川崎佑磨 |
| 45 | 川崎 佑磨、他 | Application of Quality Evaluation of Porous Concrete by RI Method to On-site Construction and Research on Effective Measuring Range | 2018年11月 | The 8th International Conference of Asian Concrete Federation (ACF2018) | Z. Wang・Y. Ishikawa・Y. Yamada・T. Okamoto・Y. Kawasaki |
| 46 | 川崎 佑磨、他 | Evaluation of Rebar Corrosion without Oxide Film in concrete Using Acoustic Emission and Half-cell Potential Methods | 2018年11月 | The 8th International Conference of Asian Concrete Federation (ACF2018) | Y. Yasuda・M. Yokota・T. Fukuyama・Y. Kawasaki |
| 47 | 川崎 佑磨、他 | RI法を応用したポーラスコンクリートの空隙率評価に関する研究 | 2018年11月 | 第45回セメント・コンクリート研究討論会 | 川崎佑磨・岡本享久・山田悠二・福山智子 |
| 48 | 河角直美、他 | デジタルアーカイブ写真を活用した景観理解支援システムの研究ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー | 2018年11月 | 日本建築学会、第18回建築教育シンポジウム、建築会館 | 高橋彰、山本峻平、佐藤弘隆、河角直美、井上学、矢野桂司、北本朝展 |
| 49 | 金度源、他 | Capacity Building of Disaster Risk Management for Cultural Heritage Resilience | 2018年2月 | 『Disaster Risk Management Expert Workshop: Enhancing Disaster Risk Management and Resilience Building』、Ministry of the Interior and Safety, Korea | Dowon Kim, Rohit Jigyasu |
| 50 | 金度源、他 | 「重伝建地区における防災訓練の実施とその改善方針の提案：島根県津和野重伝建地区を対象として」 | 2018年7月 | 立命館大学 歴史都市防災研究所 歴史都市防災シンポジウム | 中林秀光、大窪健之、金度源 |
| 51 | 金度源、他 | 「歴史都市における災害対策の研究項目に関する調査：『文化遺産防災ハンドブック』の改訂を目指して」 | 2018年7月 | 立命館大学 歴史都市防災研究所 歴史都市防災シンポジウム | 山口 奨、金度源 |

| | | | | | |
|----|------------|---|----------|--|--|
| 52 | 金度源、 他 | 「寺院の防災拠点活用による帰宅困難者対策～京都駅周辺地域を対象とした有効性評価～」 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部 日本建築学会 近畿支部研究報告会 | 清水弘樹、金度源、大窪健之 |
| 53 | 金度源、 他 | 「地域観光サービスの活用による外国人観光客の避難誘導に関する研究～清水寺周辺地域の人力車と貸衣装店舗を対象として～」 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部 日本建築学会 近畿支部研究報告会 | 高揚、大窪健之、金度源 |
| 54 | 金度源、 他 | 「歴史的街区の伝統的な構成要素による延焼抑止効果に関する研究～高山市三町・下二之町大新町重伝建地区の土蔵群に着目して～」 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部 日本建築学会 近畿支部研究報告会 | 砂田陸、大窪健之、金度源 |
| 55 | 金度源、 他 | Evaluation of the fire spreading risk triggered by earthquake, and proposal for risk mitigation measures using existing water environment for wooden buildings in historic area of Kyoto, Japan | 2018年11月 | International Conference of Building Resilience 2018 | Takeyuki Okubo, Tsubasa Naito, Dowon Kim, Michiko Hayashi |
| 56 | 金度源、 他 | Capacity of the temples and shrines for using as evacuation places and shelters against the tsunami hazard: the case study for the coastal area of Muroto, Kochi-Prefecture in Japan | 2018年11月 | International Conference of Building Resilience 2018 | Dowon Kim, Hiroki Tanaka, Takeyuki Okubo, Michiko Hayashi |
| 57 | 小林泰 三、他 | スクリーオーガによる地盤掘削時の施工情報を利用した土の力学特性把握に関する検討 | 2018年10月 | 建設技術コンサルタンツ協会 近畿支 部第51回研究発表会 | 栗原健伸、深川良一、小林泰三、宇治原 雅之、若林幸子、金森洋文 |
| 58 | 小林泰 三、他 | UAVを活用した盛土の品質管理手法の提案 | 2018年8月 | 土木学会第73回年次講演会 | 小林泰三、土佐信一、平 浩之、関家史 郎、後藤政昭、池永太一 |
| 59 | 小林泰 三、他 | 非接触式 RI 測定器による盛土の品質管理手法の検討 | 2018年8月 | 土木学会第73回年次講演会 | 後藤政昭、池永太一、松浦与良信、小林 泰三 |
| 60 | 高橋学 | 「環太平洋における巨大地震と火山活動」 | 2018年 | 環太平洋文明環境センター | 高橋学 |
| 61 | 高橋学 | 環境史・土地開発史・災害史からみた災害リスクへの対応 | 2018年 | R-GIRO シンポジウム | 高橋学 |
| 62 | 武田史朗 | M. H. Jacobs による論文「生息環境の質」における論説の構造に関する研究—オランダにおける「空間の質」に関する議論の文脈の中で— | 2018年6月 | 平成 30 年度(2018 年度) 建築学会 近畿支部研究発表会 | 田中祐介・武田史朗 |
| 63 | 武田史朗 | 巨椋池・古川上流における治水機能を持ったオープンスペースの計画に関する研究 | 2018年9月 | 2018 年度日本建築学会大会(東北), 2018 (デザイン発表会) | 安文婷・坂野有子・武田史朗 |
| 64 | 武田史朗 | 高野山における女人堂跡と女人道に着目した巡礼路の再編による文化継承 | 2018年9月 | 2018 年度日本建築学会大会(東北), 2018 (デザイン発表会) | 今川怜子・武田史朗 |
| 65 | 武田史朗 | 立命館大学平井嘉一郎記念図書館 | 2018年9月 | 2018 年度日本建築学会大会(東北), 2018 (デザイン発表会) | 赤川貴世友・及川清昭・武田史朗・戸川 勝之 |
| 66 | 豊田祐 輔、他 | ゲーミング・シミュレーションを用いた仮装公聴会参加者の意見変化の計測—参加者のパターン分析— | 2018年5月 | 日本シミュレーション&ゲーミング学 会全国大会論文報告集 2018年春号 | 清水泰有、石橋健一、留野僚也、豊田祐 輔、鐘ヶ江秀彦、和泉潤 |
| 67 | 豊田祐 輔、他 | A Study on Effect of “Social Loafing” toward Disaster Preparedness | 2018年5月 | 12th World Congress of the RSAI (Regional Science Association International) | Tomeno Ryoya, Toyoda Yusuke and Shimizu Hiroari |
| 68 | 豊田祐 輔、他 | Enhancing Social Resilience of Students by Applying Gaming Simulation for Community-based Disaster Risk Management to Disaster Education | 2018年7月 | “Proceedings of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association” pp. 80-87 | Toyoda Yusuke* and Puntita Tanwattana |

| | | | | | |
|----|--------|---|----------|--|--|
| 69 | 豊田祐輔、他 | Gaming Simulation for Problem-based Learning (PBL) in Higher Education | 2018年7月 | "Proceedings of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association" pp. 734-757 | Toyoda Yusuke*, Kanegae Hidehiko*, Hirunsalee Siyanee, Punyakampol Chanya* and Otieno Francis* |
| 70 | 豊田祐輔、他 | A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas Using Agent Simulation | 2018年7月 | "Proceedings of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association" pp. 693-700 | Sakai Kohei*, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko |
| 71 | 豊田祐輔、他 | Gaming Simulation for Enhancing Resilience and Managing the Unexpected | 2018年7月 | "49th Conference of the International Simulation and Gaming Association" | Toyoda Yusuke |
| 72 | 豊田祐輔、他 | Enhancing Students' Recognition of the Importance of Community-based Disaster Risk Management by Applying Gaming (Poster) | 2018年9月 | Young Researchers' Round Table in the 10th International School: Awareness and Responsibility of Environmental Risk | Toyoda Yusuke and Tanwattana Puntita |
| 73 | 豊田祐輔 | 参加と防災教育に着目した防災イベントの効果に関する研究 | 2018年10月 | 『第37回自然災害学会学術講演会講演概要集』165-166頁 | 豊田祐輔 |
| 74 | 豊田祐輔 | 地域イベントの一環として実施される防災ゲームの効果に関する研究 | 2018年10月 | 『日本地域学会第55回年次大会学術発表論文集』(Webpage) | 豊田祐輔 |
| 75 | 豊田祐輔 | Disaster Activities to Approach Non-Participants in Disaster Trainings and Promote Cooperation among Local Actors | 2018年11月 | "Proceedings of the 8th ICBR: International Conference on Building Resilience (Risk and Resilience in Practice: Vulnerabilities, Displaced People, Local Communities and Heritages)" p. 214, University Institute of Lisbon, in Lisbon: Portugal | Toyoda Yusuke |
| 76 | 平尾和洋、他 | 山梨県内の兎造り民家の諸特性分析その2-小屋組・屋根型の類型と分析- | 2018年6月 | 日本建築学会北海道支部研究報告集 No. 91 | 西村祐香, 小林和敬, 遠藤直久, 平尾和洋 |
| 77 | 平尾和洋、他 | 山梨県内の兎造り民家の諸特性分析その1-間取りの類型と地方間の差異の分析- | 2018年6月 | 日本建築学会北海道支部研究報告集 No. 91 | 平尾和洋, 小林和敬, 遠藤直久 |
| 78 | 平尾和洋、他 | 京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集第58号 | 小玉寧人, 石川一平, 平尾和洋 |
| 79 | 平尾和洋、他 | 福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析 その2- 規模の定量分析と福島県西会津町における中門造民家の分析- | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集第58号 | 小池潤, 平尾和洋 |
| 80 | 平尾和洋、他 | 福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析 その1- 中門・主屋の類型による分析- | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集第58号 | 奥浩, 小池潤, 平尾和洋 |
| 81 | 平尾和洋、他 | 山梨県内の兎造り民家の諸特性分析 その2- 小屋組・屋根型の類型と分析- | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集第58号 | 西村祐香, 小林和敬, 遠藤直久, 平尾和洋 |
| 82 | 平尾和洋、他 | グループワークの建築設計における評価法としてのシックス・ハットの手法化とその有効性に関する考察その2 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集第58号 | 遠藤直久, 佐藤峻亮, 平尾和洋 |
| 83 | 平尾和洋、他 | グループワークの建築設計における評価法としてのシックス・ハットの手法化とその有効性に関する考察その1 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集第58号 | 坂下太一, 佐藤峻亮, 遠藤直久, 平尾和洋 |
| 84 | 平尾和洋、他 | エドワード・デボノのシックス・ハット発想法の手法化 | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 遠藤直久, 佐藤峻亮, 平尾和洋 |
| 85 | 平尾和洋、他 | 福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析その2-規模の定量分析と福島県西会津町における中門造民家の分析- | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 平尾和洋, 小池潤 |

| | | | | | |
|-----|--------|--|----------|--|--|
| 86 | 平尾和洋、他 | 福島県会津地域及び新潟県下越・中越地域の中門造民家に関する諸特性分析その1-中門・主屋の類型による分析- | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 小林稜治, 小池潤, 平尾和洋 |
| 87 | 平尾和洋、他 | 山梨県内の兜造り民家の諸特性分析その2-小屋組・屋根型の類型と分析- | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 坂下太一, 遠藤直久, 小林和敬, 平尾和洋 |
| 88 | 平尾和洋、他 | 山梨県内の兜造り民家の諸特性分析その1-間取りの類型と地方間の差異の分析- | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 斎藤翔太, 小林和敬, 遠藤直久, 平尾和洋 |
| 89 | 平尾和洋、他 | 京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案その2 | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 内貴美侑, 石川一平, 平尾和洋 |
| 90 | 平尾和洋、他 | 京都市西陣地区の事前復興計画を想定した建築物の類型化およびその評価と防災型復興住宅モデルの提案その1 | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 田中勇氣, 石川一平, 平尾和洋 |
| 91 | 深川良一、他 | 現地発生材を利用したサイゴン川河岸に対する地盤改良工法の適用 | 2018年6月 | 平成30年度土木学会関西支部年次学術講演会 | 名久井大輝, 大矢綾香, 山戸貴嗣, 深川良一 |
| 92 | 深川良一、他 | 熊野参詣道横垣峠の崩壊・非崩壊斜面における降水量と風向の傾向 | 2018年7月 | 第53回地盤工学研究発表会 | 石田優子, 綾地諒, 深川良一, 古根川竜夫, 酒井俊典, 岡島賢治 |
| 93 | 深川良一、他 | 超音波水分動態観測手法を用いた透水試験法の実証試験 | 2018年7月 | 第53回地盤工学研究発表会 | 稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 |
| 94 | 深川良一、他 | 斜面土層内のパイプ流が地下水水位変動に及ぼす影響 | 2018年7月 | 第53回地盤工学研究発表会 | 伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 |
| 95 | 深川良一、他 | 熊野参詣道横垣峠地すべりにおける降雨-地下水位の応答関係-地すべり安定性評価への土壌雨量指数の適用性検討- | 2018年5月 | 平成30年砂防学会研究発表会, (公社)砂防学会 | 石田優子, 古根川竜夫, 後誠介, 深川良一 |
| 96 | 深川良一、他 | 超音波現地透水試験法を用いた透水性の空間分布の把握 | 2018年5月 | 平成30年砂防学会研究発表会, (公社)砂防学会 | 稲垣大基, 平岡伸隆, 伊良知慎太郎, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 |
| 97 | 深川良一、他 | 斜面内のパイプ流周辺における地下水水位変動に関する実験的考察 | 2018年5月 | 平成30年砂防学会研究発表会, (公社)砂防学会 | 伊良知慎太郎, 平岡伸隆, 稲垣大基, 藤本将光, 田中克彦, 深川良一 |
| 98 | 深川良一、他 | 警報解除基準に着目した組合せ実効雨量の研究-世界遺産熊野参詣道横垣峠地すべりの地下水水位観測事例- | 2018年8月 | 第57回日本地すべり学会研究発表会概要集 | 石田優子, 古根川竜夫, 松尾勉, 深川良一 |
| 99 | 深川良一、他 | 液状化が開削トンネルに与える影響に関する解析的検証 | 2018年10月 | (一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 第51回(平成30年度)研究発表会 論集 | 杉藤溪太, 岡野哲也, 深川良一 |
| 100 | 深川良一、他 | スクリーオーガによる地盤掘削時の施工情報を利用した土の力学特性把握に関する検討 | 2018年10月 | (一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 第51回(平成30年度)研究発表会 論集 | 栗原健伸, 深川良一, 小林泰三, 宇治原雅之, 若林幸子, 金森洋文 |
| 101 | 福水洋平、他 | Face Image Super-Resolution with Adaptive Patch Size to Scaling Factor | 2018年5月 | The 10th International Conference on Digital Image Processing | M. Suhail, Y. Fukumizu, T. Izumi and H. Yamauchi |
| 102 | 福水洋平、他 | Improved Face Image Super-resolution with Restricted Patch-searching Area | 2019年1月 | The 4th International Conference on Multimedia and Image Processing | S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, H. Yamauchi |
| 103 | 福水洋平、他 | Illuminance-robust semipermanent 2D porous code | 2019年1月 | International Conference on Electronics, Information, and Communication 2019 | K. Kimura, A. Ohashi, Y. Fukumizu, T. Douseki |
| 104 | 福水洋平、他 | Example-based Face-image Restoration for Block-noise Reduction | 2019年3月 | The 3rd International Conference on Frontiers of Image Processing | S. Hamdan, Y. Fukumizu, T. Izumi, H. Yamauchi |
| 105 | 福山智子、他 | A frost resistance evaluation method considering water absorption by freeze-thaw | 2018年11月 | The 8th International Conference of Asian Concrete Federation (ACF2018) "SUSTAINABILITY AND INNOVATION IN CONCRETE MATERIALS AND STRUCTURES" | D. Ma, A. Tsudzuki, T. Fukuyama, and O. Senbu |
| 106 | 福山智子、他 | Evaluation of Rebar Corrosion without Oxide | 2018年11月 | The 8th International Conference of Asian Concrete Federation | |

| | | | | | |
|-----|--------|--|----------|--|---|
| | | film in RC by Acoustic Emission and Half-Cell Potential Method | | (ACF2018) "SUSTAINABILITY AND INNOVATION IN CONCRETE MATERIALS AND STRUCTURES" | |
| 107 | 藤井健史、他 | ランダム配置シミュレーションによる樹木配置数と緑視率の数理的關係に関する考察 | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演会 | 藤井健史、山田悟史 |
| 108 | 藤本将光、他 | 急傾斜地における崩土の流動現象に関する実験 | 2018年5月 | 平成30年度砂防学会研究発表会 | 山本和輝、藤本将光、原田紹臣、青木康真、里深好文 |
| 109 | 藤本将光、他 | 超音波現地透水試験法を用いた透水性の空間分布の把握 | 2018年5月 | 平成30年度砂防学会研究発表会 | 稲垣大基、平岡伸隆、伊良知慎太郎、藤本将光、田中克彦、深川良一 |
| 110 | 藤本将光、他 | 斜面内のパイプ流周辺における地下水位変動に関する実験的考察 | 2018年5月 | 平成30年度砂防学会研究発表会 | 伊良知慎太郎、平岡伸隆、稲垣大基、藤本将光、田中克彦、深川良一 |
| 111 | 藤本将光、他 | 浅野川伝統的建造物群保存地区の洪水の危険性 | 2018年5月 | 平成30年度砂防学会研究発表会 | Qin Xin、藤本将光、里深好文 |
| 112 | 藤本将光、他 | Flood Risk in Traditional Building Preservation Districts on the Asano River | 2018年10月 | INTERPRAVENT 2018 | Qin Xin, Masamitsu FUJIMOTO, Yoshifumi SATOFUKA |
| 113 | 持田泰秀、他 | Modern Methods of Construction (MMC): The potentials and challenges of using prefabrication technology for building modern houses in Afghanistan | 2018年5月 | International Congress on Engineering and Information | KARIMI A. Latif |
| 114 | 持田泰秀、他 | 電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その1) —早期のひび割れ・孔壁崩壊の影響について— | 2018年7月 | 第53回地盤工学研究発表会 | 羽原琢朗、持田泰秀、藤井衛、豊島広、松本洋、角田和明 |
| 115 | 持田泰秀、他 | 電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その2) —重曹を混合した低強度セメントの影響について— | 2018年7月 | 第53回地盤工学研究発表会 | 持田泰秀、羽原琢朗、藤井衛、豊島広、松本洋、角田和明 |
| 116 | 持田泰秀、他 | 電気比抵抗を利用した埋込み杭の根固め部の形状・寸法評価に関する基礎的実験 | 2018年7月 | 第53回地盤工学研究発表会 | 児玉貴之、小寺満、千種信之、持田泰秀、藤井衛 |
| 117 | 持田泰秀、他 | 電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その1) —早期のひび割れ・孔壁崩壊の影響について— | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 羽原琢朗、持田泰秀、藤井衛 |
| 118 | 持田泰秀、他 | 地震直前の耐震診断と被災程度調査結果の比較に関する研究 —K競技場の事例を用いて— | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 北川貴大、持田泰秀、難波清孝 |
| 119 | 持田泰秀、他 | 免震レトロフィット工法における仮受工法の歩掛に関する研究 | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 伊原大貴、持田泰秀 |
| 120 | 持田泰秀、他 | 電気比抵抗を用いた地盤改良体の施工管理の可能性に関する研究(その2) —重曹を混合した風化セメントの影響について— | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | インドラハルデイ、持田泰秀、藤井衛 |
| 121 | 持田泰秀、他 | 電気比抵抗を利用した埋込み杭根固め球根の寸法調査に関する基礎的実験 | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 児玉貴之、藤井衛、持田泰秀、千種信之、小寺満 |
| 122 | 持田泰秀、他 | C L T工法の免震建物の耐震性能に関する研究 —積層ゴムと転がり支承の比較— | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 深井亮汰、持田泰秀 |
| 123 | 持田泰秀、他 | 過去の地震における建設型仮設住宅と借上型仮設住宅の供給に関する研究 ～借上型仮設住宅の活用の変遷について～ | 2018年9月 | 日本建築学会大会学術講演梗概集 | 飯村知寛、持田泰秀 |
| 124 | 持田泰秀 | 高強度繊維複合材の耐震補強ブレースへの活用 | 2018年11月 | 第7回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム | 持田泰秀 |

| | | | | | |
|-----|--------|--|----------|---|--|
| 125 | 持田泰秀、他 | DEVELOPMENT OF CARBON FIBER REINFORCED THERMOPLASTIC STRAND ROD | 2018年11月 | 8th Int. Conf. on Geotechnique, Construction Materials and Environment | Yusuke Imoto |
| 126 | 持田泰秀、他 | Study on Unit Price of Temporary Supporting Method for Seismic Isolation Retrofit | 2019年2月 | The International Conference on Engineering and Applied Sciences | Daiki Ihara/Yasuhide Mochida |
| 127 | 矢野桂司、他 | Japanese Map Warper for Japanese Old Maps: an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities | 2018年8月 | 2018 IGU Regional Conference Quebec | Keiji Yano and Ryo Kamata |
| 128 | 矢野桂司 | 地理情報システム(GIS)とオープンデータ教育や自治体での活用 | 2018年8月 | GIS day in 伊勢 2018 | 矢野桂司 |
| 129 | 矢野桂司、他 | WebGIS-based Application for Compering Rakuchū rakugai-zu Folding Screens | 2018年8月 | The 1st KDD Workshop on Data Science for Digital Art History: tackling big data Challenges, Algorithms, and Systems | Keiji Yano, Masaru Tsuchida, Satoshi Imamura and Masanori Yamaji |
| 130 | 矢野桂司、他 | 子育て世帯の住宅選択行動に関する研究 —市営住宅応募者の応募者特性— 子育て世帯に対する住宅政策に関する調査研究(その1) | 2018年9月 | 2018年度日本建築学会大会(東北)学術講演会・建築デザイン発表会 | 中西真弓、生川慶一郎、高田光雄、伊丹絵美子、矢野桂司、趙賢株、式王美子、河野学 |
| 131 | 矢野桂司、他 | 子育て世帯子育て世帯向け住宅において配慮すべき住宅部位別の設計内容—京都市の子育て世帯向けリノベーション住宅を例として— 子育て世帯に対する住宅政策関連調査研究(その2) | 2018年9月 | 2018年度日本建築学会大会(東北)学術講演会・建築デザイン発表会 | 河野学、趙賢株、高田光雄、中西真弓、矢野桂司、伊丹絵美子、生川慶一郎、式王美子 |
| 132 | 矢野桂司 | オープンデータの地理空間情報を活用した社会・学校GIS教育の展開 | 2018年10月 | 関西G空間フォーラム2018 | 矢野桂司 |
| 133 | 矢野桂司 | 協働によるジオデザインのフレームワーク | 2018年10月 | 公開シンポジウム「グローバル時代のデータ利用と可視化」 | 矢野桂司 |
| 134 | 矢野桂司、他 | 中古不動産市場における空間的波及効果 | 2018年10月 | 第27回学術研究発表大会 | 上杉昌也・上村要司・矢野桂司 |
| 135 | 矢野桂司、他 | 京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析 | 2018年10月 | 第27回学術研究発表大会 | 青木和人・矢野桂司・武田幸司 |
| 136 | 矢野桂司、他 | 日本版 Map Warper を用いた旧版地形図の公開 | 2018年10月 | 第27回学術研究発表大会 | 今村聡・鎌田遼・矢野桂司・磯田弦・中谷友樹 |
| 137 | 矢野桂司、他 | 日本版 Map Warper を用いた旧版地形図の公開 | 2018年10月 | 第27回学術研究発表大会 | 今村聡・鎌田遼・矢野桂司・磯田弦・中谷友樹 |
| 138 | 矢野桂司、他 | 京都地籍図データベースを用いた明治末期の土地所有者構造分析 | 2018年10月 | 第27回学術研究発表大会 | 青木和人・矢野桂司・武田幸司 |
| 139 | 矢野桂司 | 地理教育とGIS | 2019年1月 | 第420回例会 | 矢野桂司 |
| 140 | 矢野桂司 | バーチャル京都から見る三条通の景観変遷 | 2019年1月 | 第42回まちカフェ | 矢野桂司 |
| 141 | 矢野桂司、他 | Geodesign in depopulation area: Yosano Town, Japan | 2019年2月 | International Geodesign Collaboration 2019 | Kazumasa Hanaoka and Keiji Yano |
| 142 | 矢野桂司 | 歴史GISと新しい地理教育 | 2019年3月 | GIS day in 関西 2019 | 矢野桂司 |
| 143 | 矢野桂司、他 | Historical paths of contact and isolation explain lexical variation in Japanese dialects | 2019年3月 | 日本地理学会春季学術大会 | Péter Jeszenszky*, Keiji Yano, Yoshinobu Hikosaka |
| 144 | 矢野桂司、他 | 公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか | 2019年3月 | 公開シンポジウム「地理総合」で何が変わるか | 矢野桂司・井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子 |
| 145 | 山田悟史 | Deep Learning を用いた街並み画像の都市名と訪問意欲の推定 | 2018年7月 | 日本建築学会近畿支部研究報告集, 第58号計画系, pp. 257-260, 2018. 7, 日本建築学会近畿支部 | 山田悟史 |
| 146 | 山田悟史 | 紙と鉛筆で理解する深層学習の基礎(単層パーセプトロン) | 2018年7月 | 知的情報処理技術習得セミナー「その3: 機械学習と深層学習」2018. 7, 日本建築学会 知的情報処理技術応用小委員 | 山田悟史 |
| 147 | 山田悟史、他 | HMDを用いた建築・都市の空間設計に関する研究 | 2018年9月 | 第23回日本バーチャルリアリティ学会大会論文集, 13B-6, 2018. 09, 日本バ | 北本英里子, 山田悟史 |

| | | | | | |
|-----|----------|--|----------|---|-------------------------------|
| | | | | 一チャルリアリティ学会 | |
| 148 | 山田 悟史、他 | ランダム配置シミュレーションによる樹木配置数と緑視率の数理的關係に関する考察 | 2018年9月 | 日本建築学会大会（東北）学術講演梗概集（情報システム技術），pp. 113-114, 2018. 9, 日本建築学会 | 藤井健史, 山田悟史 |
| 149 | 山田 悟史、他 | 多次元グラフ理論による建築都市の定量把握 | 2018年9月 | 日本建築学会大会（東北）学術講演梗概集（情報システム技術），pp. 117-118, 2018. 9, 日本建築学会 | 北本英里子, 山田悟史, 及川清昭 |
| 150 | 山田 悟史、他 | マルチエージェントを用いた非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究 松山城における避難完了時間及び危険密度範囲を最小化する避難計画 | 2018年9月 | 日本建築学会大会（東北）学術講演梗概集（情報システム技術），pp. 169-170, 2018. 9, 日本建築学会 | 中島昌暉, 山田悟史 |
| 151 | 山田 悟史、他 | A Quantitative Grasp of Sloping Street Network Using the Multidimensional Graph Theory | 2018年10月 | ISATA 2018: The 12th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, October 23-26, 2018, Gangwon, Korea | 北本英里子, 山田悟史, 及川清昭 |
| 152 | 山田 悟史、他 | 一次救命を実施する非医療従事者の存在確率をふまえたAEDの適正配置 | 2018年12月 | 第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp. 278-281, 2018. 12, 日本建築学会 | 中島昌暉・山田悟史・岩田伸一郎・江川香奈 |
| 153 | 山田 悟史、他 | 傾斜地に立地する都市の街路ネットワーク解析の提案 | 2018年12月 | 第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp. 290-293, 2018. 12, 日本建築学会 | 北本英里子・山田悟史・及川清昭 |
| 154 | 山田 悟史、他 | Deep Learning を用いた画像生成 AI の建築都市デザイン分野への適用可能性 | 2018年12月 | 第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集：報告 pp. 246-249, 2018. 12, 日本建築学会 | 大野耕太郎・山田悟史 |
| 155 | 山田悟史 | 〇〇を学習した AI が作る〇〇風画像 | 2019年3月 | 知的情報処理技術習得セミナー「その4：最適化・エージェント・ニューラルネットワーク入門」2019. 3, 日本建築学会 知的情報処理技術応用小委員 | 山田悟史 |
| 156 | 山田悟史 | デザインするAI, VR 建築理論を目指した基礎研究 | 2019年3月 | 関西建築技術研究会 第40回 CAD 情報部会, 2019. 3, 関西建築技術研究会 | 山田悟史 |
| 157 | 吉 富 信太、他 | 多層構造物における地震時応答低減のための TMD 床の最適配置法 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究発表会 | 津留崎聖斗, 吉富信太 |
| 158 | 吉 富 信太、他 | 多層多スパン立体せん断モデルの構面別構造特性の推定法 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究発表会 | 新谷謙一郎, 吉富信太, 竹脇出 |
| 159 | 吉 富 信太、他 | 屋根型円筒ラチスシェルにおける形状パラメータ変化が構造特性と地震時応答に及ぼす影響に関する基礎的研究 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究発表会 | 福島研人, 吉富信太 |
| 160 | 吉 富 信太、他 | 建築構造システムのデザイン性向上のための評価指標の構築に関する研究 | 2018年6月 | 日本建築学会近畿支部研究発表会 | 嶋田陽大, 吉富信太 |
| 161 | 吉 富 信太、他 | 床の面内剛性を考慮した立体せん断モデルの構面別システム同定法 | 2018年9月 | 日本建築学会大会（東北） | 新谷謙一郎, 吉富信太, 竹脇出 |
| 162 | 吉 富 信太、他 | 屋根型円筒ラチスシェルにおける形状パラメータ変化が構造特性と地震時応答に及ぼす影響に関する基礎的研究 | 2018年9月 | 日本建築学会大会（東北） | 福島研人, 吉富信太 |
| 163 | 吉 富 信太、他 | 建築構造システムのデザイン性向上のための評価指標の構築に関する研究 | 2018年9月 | 日本建築学会大会（東北） | 嶋田陽大, 吉富信太 |
| 164 | 石 田 優子、他 | 熊野参詣道横垣峠地すべりにおける降雨-地下水位の応答関係 一地すべり安定性評価への土壌雨量指数の適用性検討 | 2018年5月 | 平成30年度（公社）砂防学会研究発表会「鳥取大会」 | 石田優子、古根川竜夫、後誠介、深川良一 |
| 165 | 石 田 優子、他 | 熊野参詣道横垣峠の崩壊・非崩壊斜面における降水量と風向の傾向 | 2018年7月 | 地盤工学研究発表会 | 石田優子、深川良一、綾地諒、古根川竜夫、酒井俊典、岡島賢治 |
| 166 | 石 田 優子、他 | 警報解除基準に着目した組合せ実効雨量の研究-世界遺産熊野参詣道横垣峠地すべりの地下水位観測事例- | 2018年8月 | 第57回日本地すべり学会研究発表会 | 石田優子、古根川竜夫、松尾勉、深川良一 |
| 167 | 石 田 優子、他 | 横垣峠地すべりにおける地下水位の変動特性 | 2018年11月 | Kansai Geo-Symposium 2018-地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム- | 石田優子、深川良一、古根川竜夫、木林幹、後誠介 |

| | | | | | |
|-----|---------|---|----------|--|--|
| 168 | 石田 優子、他 | INFLUENCE OF FLOODS ON THE INCLINATION OF STUPAS IN AYUTTHAYA, THAILAND | 2018年11月 | 8th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment | Yuko ISHIDA, Ayaka Oya, Weerakaset Suanpaga, Chalemchai Trakulphudphong, Chaweewan Denpaiboon and Ryoichi Fukagawa |
| 169 | 酒井 宏平、他 | A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas Using Agent Simulation | 2018年7月 | The 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association | Kohei Sakai, Hiroari Shimizu, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae |
| 170 | 酒井 宏平、他 | 震災時における外国人観光客の避難行動モデリングに関する研究-清水寺界限を事例に- | 2018年10月 | 日本地域学会 第55回(2018年)年次大会 | 酒井宏平、鍾ヶ江秀彦 |
| 171 | 酒井 宏平、他 | A Study on Change in the Tourists' Intention to Stay by Public Support at Himeji Castle for Mitigating Simultaneous Returning Home after Large Scale Earthquake | 2018年10月 | 7th International Conference on Sustainable Future for Human Security | Kohei Sakai, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae |
| 172 | 酒井 宏平、他 | A Study on Effect of Education for Sustainable Development Using a Quantitative Text Analysis of Students' Questionnaire Responses: A Case of a short-term International PBL Workshop for Thai Undergraduate Students | 2018年10月 | 7th International Conference on Sustainable Future for Human Security | Kohei Sakai, Yusuke Toyoda and Hidehiko Kanegae |
| 173 | 谷端郷 | 津波の教訓を伝える地名の行方-『岩手沿岸古地名考』の追跡調査- | 2018年5月 | 歴史都市防災研究所 2018年度第2回定例研究会 | 谷端 郷 |
| 174 | 谷端郷、他 | 被災後の町の復興を支える神輿渡御-宮城県南三陸町保呂羽神社の春祭り- | 2018年7月 | 第12回歴史都市防災シンポジウム | 谷端 郷・板谷直子・中谷友樹 |
| 175 | 谷端郷、他 | 災害文化遺産の展示手法と防災教育への活用-禹王遺跡展の事例から- | 2018年7月 | 第12回歴史都市防災シンポジウム | 大邑潤三・片山正彦・谷端 郷 |
| 176 | 谷端郷、他 | ストーリーマップを活用した防災教材の作成とその意義 | 2018年12月 | じんもんこん(人文科学とコンピュータシンポジウム)2018 | 谷端 郷・中谷友樹 |

4. 主催したシンポジウム・研究会等

| No. | 発表会議名 | 開催場所 | 発表年月 | 来場者数 | 共催機関名 |
|-----|----------------------------------|------------------------------|---------|--------------------------|---|
| 1 | 第12回歴史都市防災シンポジウム | 衣笠キャンパス | 2018年7月 | 110名 | |
| 2 | 立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2018 | 衣笠キャンパス、清水寺、仁和寺、産寧坂、平福、竹田、神戸 | 2018年9月 | 招聘研修生11名、自費研修生4名、推薦聴講生3名 | 研修終了翌日に(独)国立文化財機構主催国際シンポジウムにて優秀研修者2名の発表と全研修者のポスターセッション実施。 |

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

| No. | 氏名 | 研究業績名 | 発表場所等 | 研究期間 |
|-----|-----------------|---|------------------------------------|-------------|
| 1 | 青柳 憲昌・門脇耕三・倉方俊輔 | 「特集・戦後名住宅の新しい見方」 | 『ディテール』217号、2018年7月号、彰国社、pp.37-116 | 2018年6月～ |
| 2 | 青柳憲昌 | 日経新聞「時の回廊：新八日市駅舎(滋賀県東近江市) 和洋折衷、愛され100年」 | 日経新聞夕刊(関西版)2018年8月29日11面 | 2018年8月29日～ |
| 3 | 青柳憲昌 | 「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第1回 清家清——「線」を減らして空間を抽象化する」青柳憲昌『ディテール』218号、2018年10月号、彰国社、pp.105-112 | 『ディテール』218号 | 2018年9月～ |
| 4 | 青柳憲昌 | 朝日新聞「収蔵庫に守られ 新たな亀裂なし 総合調査3年 中間報告」 | 朝日新聞(全国版)2019年1月28日19面(誌面にコメント掲載) | 2019年1月28日～ |
| 5 | 青柳憲昌 | 朝日新聞「収蔵庫「大地震耐える」 | 朝日新聞(全国版)2019年1月28日30面(誌面にコメント掲載) | 2019年1月28日～ |

| | | | | |
|----|--------|--|---|------------------|
| 6 | 青柳憲昌 | 「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第2回 吉田五十八 ―戦後の『新興数寄屋』」 | 『ディテール』219号、2019年1月号、彰国社、pp.109-116 | 2019年1月～ |
| 7 | 青柳憲昌 | 『奈良ホテル(本館)文化財的価値の調査報告書』 | 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部企画課・ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社、2019年2月、p.11(建物構造に関する所見掲載) | 2019年2月～ |
| 8 | 青柳憲昌 | 朝日新聞「樹脂による硬化 火の影響少なめ」 | 朝日新聞(全国版)2019年3月10日27面(誌面にコメント掲載) | 2019年3月10日～ |
| 9 | 伊津野和行 | 2017九州豪雨による橋の被害 | 立命館大学防災フロンティア研究センター2017年度第2回セミナー、メルパルク京都、京都市 | 2017年10月20日～ |
| 10 | 大窪健之、他 | 講演および演習指導(ブータン):「文化遺産防災の理念、東日本大震災後の調査、および災害図上訓練」 | ”Resilient Cultural Heritage (RCH) Knowledge Program Workshop on Improving Resilience of Cultural Heritage Sites”, World Bank Disaster Risk Management Hub, Tokyo “Japan-World Bank Program for Mainstreaming Disaster Risk Management in Developing Countries” | 2018年4月8日～4月11日 |
| 11 | 大窪健之 | 新聞記事(被取材):「文化財 耐震化ジレンマ」 | 朝日新聞朝刊(全国版)、pp.33 | 2018年4月23日～ |
| 12 | 大窪健之、他 | 講演および演習指導(メキシコ):THE FUTURE OF PRESERVING THE PAST: UNDERSTANDING AND COMMUNICATING RISK TO CULTURAL HERITAGE THROUGH A DISASTER IMAGINATION GAME | 2018 Understanding Risk Forum, Mexico City | 2018年5月17日～ |
| 13 | 大窪健之 | 講演:木造文化都市の防火技術開発への取り組み―木造密集市街地の延焼を抑制する散水システムの開発― | 立命館大学技術士会第9期総会、中央電気倶楽部(大阪) | 2018年6月30日～ |
| 14 | 大窪健之、他 | NHKスペシャル(被取材):町人たちが闘った“大火の都”、『シリーズ大江戸』第3集 | NHKスペシャル | 2018年7月1日～ |
| 15 | 大窪健之 | 新聞記事(被取材):文化財耐震化足踏み | 日本経済新聞(夕刊13A) | 2018年7月4日～ |
| 16 | 大窪健之 | TV被取材:文化財被害・修復への道のりは | NHKニュース630 京いちにち | 2018年9月20日～ |
| 17 | 大窪健之 | 基調講演(Keynote Speech) Traditional Disaster-mitigation Designs in Japanese Cultural Heritages- For Consisting Cultural Conservation and Disaster Mitigation -、 | International Symposium on Earthquake Response for Architectural Heritage、韓国国立文化財研究所(NRICH) | 2018年11月20日～ |
| 18 | 大窪健之 | 招待講演:地域で取り組む防災まちづくり～歴史的建造物「群」の防災を考える～ | 出石まちなみ保存会「防災学習会」、出石町役場 | 2019年1月17日～ |
| 19 | 大窪健之 | 招待コメンテーター:防災工学(演習) | 京都工学院高校3年生クラス | 2019年1月25日～ |
| 20 | 大窪健之 | 講演:西日本豪雨災害による文化遺産被害の緊急報告 | 日本建築学会・文化遺産災害対策小委員会拡大研究会 | 2019年1月25日～ |
| 21 | 大窪健之、他 | 招待講演:Exercise of “Disaster Imagination Game (DIG)” ~for Developing the Better Understanding of Disaster Risk Management Plan for Urban Cultural Heritage Complex with Community Participation~ | “School-based Approach in Promoting Disaster Risk Mitigation for Cultural Heritage”, Kampong Ayer, 28 - 31 January 2019, Bandar Seri Begawan, Brunei Darussalam | 2019年1月28日～1月31日 |
| 22 | 金度源、他 | 「Workshop on Improving Resilience of Cultural Heritage Sites in Bhutan」研修・講義指導 | Department of Archaeology, Bhutan | 2018年4月 |
| 23 | 金度源、他 | 「Workshop on Resilient Cultural Heritage and Sustainable Tourism Development」研修・講義指導 | Department of Cultural Heritage, Uzbekistan | 2018年7月 |
| 24 | 鈴木祥之 | 講演「伝統的構法木造建築物の新築と改修について」 | (公社)愛知建築士会 技術研修委員会木塾委員会 会場:愛知建築士会会議室 | 2018年1月27日 |
| 25 | 鈴木祥之、他 | パネルディスカッション「伝統工法の建築物の保存」 | 第13回年次総会・鳥取県倉吉セミナー 会場:鳥取短期大学シグナスホール大講義室 | 2018年1月 |
| 26 | 鈴木祥之 | 講義 開智中学校3学年総合学習「なぜ今日まで神社仏閣は残っているのか」 | 歴史都市防災研究所 会議室 | 2018年11月6日 |
| 27 | 高橋学 | 「環境史からみた過去・現在・未来―あなたの知らない小牧―」 | 尾張小牧歴史文化振興会、小牧市商工会議所 | |
| 28 | 高橋学 | 岡山における歴史時代の環境変化と土地開発―もののけ姫はどこにいる― | 岡山市市民講座、岡山県立図書館 | |
| 29 | 武田史朗、他 | 流域を、柔らかく住みこなす | 木学会デザインコンペ「22世紀の国づくりーありたい姿と未来へのタスクー」 | 2018年12月21日～ |

| | | | | |
|----|---------|--|--|-----------------|
| 30 | 豊田 祐輔、他 | 防災ゲーム～防災について楽しく学ぼう～（大阪府土木事務所共同） | いばらき×立命館 DAY2018（立命館大学主催） | 2018年5月20日 |
| 31 | 豊田祐輔 | 大阪いばらきキャンパスでの協働キャンパス作り | 立命館大学大学院政策科学研究科環境開発リサーチプロジェクト『体験できる政策科学入門～あなたの声を、まちの決め事に～（いばらき×立命館 DAY2018内）』、立命館大学大阪いばらきキャンパス、茨木市、大阪府 | 2018年5月20日 |
| 32 | 豊田祐輔 | 災害に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～ | 『平成30年度 せつつ生涯学習大学』摂津市立コミュニティプラザ、摂津市 | 2018年10月19日 |
| 33 | 豊田 祐輔、他 | アジアと防災の釣りゲーム | AsiaWeek 2018（立命館大学主催） | 2018年10月21日 |
| 34 | 豊田 祐輔、他 | （インタビュー）それゆけ！まちづくり探検隊！！ | 豊中市『とよなか まちづくり手帖』第5号、pp. 1-2 | 2018年10月 |
| 35 | 豊田祐輔 | 茨木市平成29年度施策評価に係る外部評価 | | 2018年10月～11月 |
| 36 | 豊田祐輔 | 防災釣りゲーム | 平成30年度東山田地区連合自治会防災訓練（東山田地区連合自治会主催；参加者：地区内住民）吹田市立東山田小学校、大阪 | 2018年11月4日 |
| 37 | 豊田祐輔 | 大阪府の地震災害とマンションでの災害対策 | 『ルネ・防災フェスタ』ルネ・グランディール、茨木市 | 2018年11月11日 |
| 38 | 豊田 祐輔、他 | 防災ゲーム | ルネ・防災フェスタ（ルネ・グランディール自治会主催；参加者：居住者）ルネ・グランディール、茨木市、大阪 | 2018年11月11日 |
| 39 | 豊田祐輔 | Building National Resilience and Digital Technology in Japan | “Training for BAPPENAS on Strengthening Capacity of Institutional National Development Planning for Facing Digital Economy Development” held by Research and Development Institute of Regional Information of Ritsumeikan University, participated by the National Development Planning Agency of Indonesia (BAPPENAS), Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City | 2018年11月12日 |
| 40 | 豊田祐輔 | 防災まちづくりのすすめ～大阪府北部地震をふまえ、次の震災に備える～ | 『豊中市第26回まちづくりセミナー』豊中市立文化芸術センター、豊中市 | 2018年11月29日 |
| 41 | 豊田祐輔 | 防災ゲーム | 平成30年度潮江東地区連合防災会フェスタ（主催：潮江東地区連合防災会；参加者：一般市民）高知市立潮江東小学校、高知 | 2018年12月2日 |
| 42 | 豊田祐輔 | そのとき、どうしたらいいの？「情報が入らないとき」 | 潮江東地区連合防災会『平成30年度潮江東地区連合防災会フェスタ』高知市立潮江東小学校、高知市 | 2018年12月2日 |
| 43 | 豊田祐輔 | Introduction to Community-based Disaster Management in Japan | “1st Collaborative Workshop on Housing and Urban Development in Osaka” the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture of Chulalongkorn University, Ritsumeikan University, in Osaka, Japan | 2018年12月13日 |
| 44 | 豊田祐輔 | 密集市街地における地域防災のすすめ | 『豊中市島田公民分館地域出前講座』豊中市共同利用施設島田センター、豊中市 | 2019年2月24日 |
| 45 | 豊田祐輔 | 地域における防災学習への取り組み | 『摂津市生涯学習合同研修会』摂津市 | 2019年3月4日 |
| 46 | 宗本晋作 | 2018 BUGAIK International Architecture Exhibition | Jinjyu, Gyeongsang National University | 2018年11月23日～27日 |
| 47 | 宗本晋作 | 日中韓招待建築家展 | 釜山芸術会館 | 2018年10月19日～22日 |
| 48 | 宗本晋作、他 | VIETNAM ENERGY EFFICIENCY BUILDING WEEK 2018 | Goethe Institut Hall Hanoi | 2018年8月25日～9月1日 |
| 49 | 宗本晋作、他 | 商業施設と商店街の空間構成と店舗の見方の関係に関する研究 | 日本建築学会 近畿支部研究発表会 | 2018年6月24日 |
| 50 | 谷端郷、他 | 第14回 GIS コミュニティフォーラムへの出展 | 東京ミッドタウン、ESRI ジャパン株式会社主催 | 2018年5月24・25日 |
| 51 | 谷端郷 | 宿場町枚方を考える会主催歴史講演会「明治18年の淀川洪水と北河内」 | 枚方市市民会館 | 2018年7月22日 |
| 52 | 谷端郷、他 | 第12回 みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト：立命館大学国際平和ミュージアム主催夏休み子ども企画「へいわってなに？—今、私にできること—」第13回「災害から身をまもる編」、クイズで学ぶ防災を実施 | 立命館大学国際平和ミュージアム、防災クイズの問題作成 | 2018年7月28日 |
| 53 | 谷端郷、他 | 第12回 みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト：小学生を対象 | 東広島市立高美が丘小学校（安全安心マップ作製の講義、フィールドワーク指導） | 2018年9月2日～3日 |

| | | | | |
|----|-----|--|------------|-------------|
| | | 象としたマップ作製講習会の実施 (東広島市立高美が丘小学校) | | |
| 54 | 谷端郷 | 門真市立歴史資料館・市立枚方宿鍵屋資料館・淀川資料館合同展示「北河内の交通史」関連講座「絵地図・古写真からみた明治18年淀川大洪水」 | 市立枚方市鍵屋資料館 | 2018年10月29日 |

| 6. 受賞学術賞 | | | | | |
|----------|-------|---|--|--|----------|
| No. | 氏名 | 授与機関名 | 受賞名 | タイトル | 受賞年月 |
| 1 | 鐘ヶ江秀彦 | 国際シミュレーション&ゲーミング学会 | 第49回国際シミュレーション&ゲーミング学会世界年次大会2018 タイ王国内閣総理大臣賞・最優秀論文賞 | A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas using Agent Simulation | 2018年7月 |
| 2 | 武田史朗 | 日本造園学会 | 日本造園学会賞(著作部門) | 自然と対話する都市へ: オランダの河川改修に学ぶ | 2018年5月 |
| 3 | 武田史朗 | 土木学会 | 土木学会デザインコンペ「22世紀の国づくりーありたい姿と未来へのタスクー」優秀賞 | 流域を、柔らかに住みこなす | 2018年12月 |
| 4 | 豊田祐輔 | International Simulation and Gaming Association | The Best Paper Award of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association (3rd author from 4 authors) | A Study on Participatory Evacuation Planning in Tourist Areas Using Agent Simulation | 2018年7月 |
| 5 | 石田優子 | (公社)地盤工学会関西支部 | 社会貢献賞 | 平成23年台風12号に伴う熊野那智大社裏山の斜面崩壊・土石流に関する調査研究 | 2018年4月 |
| 6 | 酒井宏平 | タイ王国内閣総理大臣プラユット・チャンオチャ | The Best Paper Award of the 49th Conference of the International Simulation and Gaming Association (1st author from 4 authors) | | 2018年7月 |
| 7 | 酒井宏平 | 日本地域学会 | 学位論文賞(博士論文賞) | | 2018年10月 |
| 8 | 酒井宏平 | 7th International Conference on Sustainable Future for Human Security | Best Speaker Award of 7th International Conference on Sustainable Future for Human Security (1st author from 2 authors) | | 2018年10月 |

| 7. 科学研究費助成事業 | | | | | | |
|--------------|-------|---|---------|---------|---------|----|
| No. | 氏名 | 研究課題 | 研究種目 | 開始年月 | 終了年月 | 役割 |
| 1 | 伊津野和行 | 洪水や土石流に対する橋梁の安全性確保に関する研究 | 基盤研究(B) | 2017年4月 | 2019年3月 | 分担 |
| 2 | 大窪健之 | 歴史地区を対象とした伝統的減災手法の抽出と科学的検証 | 基盤研究(B) | 2017年4月 | 2019年3月 | 分担 |
| 3 | 河角直美 | 歴史GISによるデジタル・ヒューマニティーズの展開 | 基盤研究(A) | 2016年4月 | 2020年3月 | 分担 |
| 4 | 金度源 | 歴史的な町並みにおけるコミュニティ防災を支援する防災活動データベースの構築 | 若手研究 | 2018年4月 | 2021年3月 | 代表 |
| 5 | 里深好文 | 河床変動モデルと斜面崩壊モデルの結合による天然ダム決壊予測手法の開発 | 基盤研究(B) | 2018年4月 | 2020年3月 | 代表 |
| 6 | 豊田祐輔 | ゲーミングシミュレーションモデルを用いた公聴会参加者の意見変化計測と要因分析 | 基盤研究(C) | 2018年4月 | 2020年3月 | 分担 |
| 7 | 豊田祐輔 | 周辺参加住民に着目した包括的地域防災力の向上に関する研究 | 若手研究 | 2018年4月 | 2021年3月 | 代表 |
| 8 | 花岡和聖 | 多角的な地域特性からみた近隣健康格差とその動態解析 | 基盤研究(B) | 2015年4月 | 2019年3月 | 分担 |
| 9 | 花岡和聖 | 「社会保障の地理学」による地域ケアシステム構築のための研究 | 基盤研究(A) | 2015年4月 | 2019年3月 | 分担 |
| 10 | 花岡和聖 | 空間的同化論およびヘテロローカリズム論からみた在留外国人の居住地の地理学的検討 | 基盤研究(B) | 2017年4月 | 2021年3月 | 分担 |

| | | | | | | |
|----|------|--|-----------|---------|---------|----|
| 11 | 深川良一 | 大規模盛土宅地造成地補強のための拡張型アンカー工法に関する研究 | 基盤研究(C) | 2018年4月 | 2020年3月 | 代表 |
| 12 | 藤本将光 | 地盤強度と降雨浸透特性に着目した大規模地震後の降雨による斜面崩壊発生機構の解明 | 基盤研究(C) | 2018年4月 | 2020年3月 | 代表 |
| 13 | 矢野桂司 | 人口減少期の都市地域における空き家問題の解決に向けた地理学的地域貢献研究(分担) | 基盤研究(B) | 2015年4月 | 2019年3月 | 分担 |
| 14 | 矢野桂司 | 多角的な地域特性からみた近隣健康格差とその動態解析(分担) | 基盤研究(B) | 2015年4月 | 2019年3月 | 分担 |
| 15 | 矢野桂司 | 歴史GISによるデジタル・ヒューマニティーズの展開 | 基盤研究(A) | 2016年4月 | 2020年3月 | 代表 |
| 16 | 矢野桂司 | 「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築(分担) | 基盤研究(A) | 2016年4月 | 2020年3月 | 分担 |
| 17 | 矢野桂司 | 時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用(分担) | 基盤研究(A) | 2016年4月 | 2021年3月 | 分担 |
| 18 | 矢野桂司 | 人と社会の側からみた地図・地理空間情報の新技術とその評価 | 基盤研究(A) | 2017年4月 | 2021年3月 | 分担 |
| 19 | 矢野桂司 | 日本古地図ポータルサイトによるデジタル・ヒューマニティーズの推進 | 挑戦的研究(開拓) | 2017年6月 | 2021年3月 | 代表 |
| 20 | 山崎有恒 | 幕末維新时期における「公議」の研究 | 基盤研究(C) | 2017年4月 | 2020年3月 | 分担 |
| 21 | 山田悟史 | 非医療従事者の一次救命における不確実性をふまえたAED・サインの適正配置 | 基盤研究(C) | 2018年4月 | 2020年3月 | 代表 |

8. 競争的資金等(科研費を除く)

| No. | 氏名 | 研究課題 | 資金制度・研究費名 | 採択年月 | 終了年月 | 役割 |
|-----|------|--|------------|---------|---------|----|
| 1 | 福山智子 | インフラ構造物へのセンサ利用を指向したカーボンナノチューブ混和コンクリートの交流電場応答特性把握とカーボンナノチューブ使用量低減に関する研究 | 2017年度研究助成 | 2018年1月 | 2019年1月 | |
| 2 | 福山智子 | 電気化学的手法とAE法を併用した鉄筋コンクリート(RC)インフラ構造物の2段階腐食スクリーニング技術の開発 | 技術研究助成 | 2018年1月 | 2019年1月 | |
| 3 | 福山智子 | インフラ構造物へのセンサ利用を指向したカーボンナノチューブ混和コンクリートの電気化学的特性の把握とカーボンナノチューブ使用量低減に関する研究 | | 2018年4月 | 2019年3月 | |

9. 知的財産権

| No. | 氏名 | 名称 | 出願人区分 | 発明人区分 | 出願番号 | 公開番号 | 登録(特許)番号 | 国 |
|-----|------|------------------------|-------|-------|-------------|------|-------------|---|
| 1 | 深川良一 | 弾性体を利用した孔内載荷試験装置 | | | | | 特許第2571419号 | |
| 2 | 藤本将光 | 土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法 | 本学共同 | | 2015-102216 | | | |
| 3 | 藤本将光 | 透水試験装置および透水試験方法 | 本学共同 | | 2013-193946 | | | |